

第八十一回帝國議會 藥事法案外二件委員會會議錄(速記)第五回

昭和十八年二月二十日(土曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 清水留三郎君
理事勝又 春一君 理事小泉 純也君
理事田中 藤作君 理事竹内 俊吉君
理事渡邊 健君

赤間 德壽君

伊藤東一郎君

星 一君

菅又 薫君

谷原 公君

西尾 末廣君

藤生安太郎君

松本治一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

厚生大臣 小泉 親彦君

出席政府委員左ノ如シ

厚生次官 武井 群嗣君

厚生省衛生局長 灘尾 弘吉君

厚生書記官 木村忠二郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

藥事法案(政府提出、貴族院送付)

○清水委員長 藥事法案外二件ノ委員會ヲ開會致シマス、質疑ヲ繼續致シマス——藤本捨助君

○藤本委員 先般厚生大臣ハ、只今議題ニナツテ居リマス藥事法案ノ趣旨ノ御説明ニ於カレマシテ、大東亞戰爭完遂ノ爲ニ國民體力ノ向上、人口ノ増強ヲ圖リ、以テ國

力ノ根基ニ培フト云フコトガ喫緊ノ要務デアルト仰セラレテ居リマス、洵ニ至言ト思フノデアリマス、隨ヒマシテ私モ此ノ大東亞戰爭完遂ニ要請セラレマス國民體力ノ向上、人口ノ増強ニ關シマス根本的ナ問題ニ付キマシテ二、三御尋ネ致シタイト思フノデアリマス

先ヅ其ノ第一ハ、大東亞共榮圈内部ニ於ケル風土病、或ハ熱帶病ニ對スル對策ニ付テデアリマス、併シ此ノ點ニ付キマシテ既ニ昨日同僚山崎君ノ御質問ニ對シマス大

臣ノ御答辯ニ依リマシテ、大體諒承致シタ點モアルノデアリマスガ、尙ホ聊カ力由ヲ付シ、又私見ヲ添ヘマシテ御尋ネ致シテ見タイト思ヒマス、申スマデモナク熱帶地方ハ温度モ高ク、又極メテ濕潤デア

リマシテ、細菌ノ發育ハ他ノ地域ニ比較致シマスルト時間的ニモ非常ニ早ク、又量的ニモ非常ニ多イノデアリマス、且又熱帶

ニ參ツタ者ハ一時的デアリマシテモ、或ハ睡眠不足、或ハ食欲ノ不振、或ハ榮養ノ不

良、或ハ發汗ト共ニ體内ノ鹽分ガ缺乏致シ、或ハ又「ビタミン・ビー・ワン」或ハ

「ビー・ツー」ノ缺乏ヨリ致シマシテ、病氣ニ對シマスル抵抗力ガ非常ニ減退致シマシ

テ、兎角病氣ニ侵サレ易イ状態ニ相成ルノデアリマス、ノミナラズ熱帶地方ニ特異ナ

色々ナ病原體ガゴザイマシテ、一、二ヲ申シマシテモ例ヘバ寄生原虫、或ハ寄生蠕虫、

或ハ「スピロヘータ」、或ハ濾過性ノ病毒、

或ハ「リケッチヤ」其ノ他色々ノ細菌ニ因ル病原體ガアリマシテ、他ノ地域ニ見ラレナイ

惡疫ガ流行致シ、其ノ病勢モ極メテ熾烈ナモノガアルノデアリマス、隨ヒマシテ此處

ニ進出致ス者ハ、兵ト云ハズ、官ト云ハズ、或ハ産業戰士ト云ハズ、豫メ此ノ風土病或ハ熱帶病ニ對シマスル知識ヲ有シ、又之ニ

備フル所ガナクテハナラズノデアリマスガ、併シ國家ト致シマシテモ、赫々タル皇軍ノ

戰果ニ應ヘマス爲ニハ重大ナル關心事デアラネバナラズト思フノデアリマス、ト言ヒマ

スコトハ、此ノ熱帶地方ニ進出シテ征戰ノ使命ヲ達成スル者ノ健康ヲ保全致サナケレ

バナリマセズ、或ハ又大東亞共榮圈ノ建設ガ進捗スルニ連レマシテ、彼我國民ノ往來

ガ頻繁ヲ加ヘ、隨ヒマシテ熱帶病ガ熱帶デナイイガ本土ニモ何時侵入致サヌトモ限ラ

ズ、之ニ對處致ス必要モゴザイマス、又國民中ニハ熱帶地方ト申シマス、非常ニ惡

疫ガ流行シ、衛生状態モ不良デ、此處ニ行ケバ病ニ罹リ、直グニ死ヌノダト云フヤウナ行

過ギタ恐怖心ニ囚ハレテ居ル者モアリマス、此ノ恐怖心ヲ拂拭致サナケレバ、南方進出

ニ對シテ非常ナ支障ヲ來シマス、更ニ又十億ノ大東亞共榮圈内ニ住ム原住民ノ是等疾

病ヨリ受クル所ノ痛苦ト云フモノヲ解消シテヤル必要ガアルノデアリマスガ、私ハ斯

様ナ觀點カラ致シマシテ、國策トシテ國家ガ特別ノ施策ヲ以テ此ノ風土病、或ハ熱帶

病ニ對シマス調査研究ノ徹底ヲ期シ、以テ

付託議案
藥事法案(政府提出、貴族院送付)(第六三號)
船員保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第六四號)
軍事扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第六五號)

ナ研究所ヲ設置シ、例ノ「ロックフエナー」カ  
ラ莫大ナ金ヲ投ジマシテ熱帯病ノ研究ヲシ  
テ居ルト云フコトハ御存ジノ通りデアリマ  
ス、然ルニ我が國ニ於キマシテハ熱帯地域  
ニ非常ニ隣接シテ居ルニモ拘ラズ、此ノ風  
土病或ハ熱帯病ニ對スル研究、或ハ國家的  
施設ハ乏シクデアリマシテ、僅カニ臺灣  
領有以來臺灣總督府ノ中央研究所ニ於キマ  
シテ「マラリア」病ニ對スル若干ノ施設ヲ講  
ジ、或ハ先年臺北帝大ヲ設立セラレマシタ  
際ニ、此處ニ熱帯病學講座ヲ設ケラレタト云  
フ位ニ過ギナイデアリマス、支那事變以來外務  
省、臺灣總督府、厚生省ニ於ケラマシテ北支、  
中支、或ハ最近南方方面ニモ調査團等ヲ派遣  
セラレテ居ルコトモ存ジテ居リマスガ、國家

何ヨリモ重要ナコトデアラウト信ズルノデ  
アリマス、又此ノコトハ同時ニ世界人類ノ  
福祉ニモ寄與スル所甚大ナルモノガアリマ  
ス、ソコデ御尋ネ致シタイノデアリマスガ、  
此ノ大東亞共榮圈內ノ風土病、或ハ熱帯病  
ノ根本的ナ調査研究ト、此ノ征服ノ爲ニ國  
家ハ此ノ際如何ナル施策ヲナスベキカ、或  
ハソレニ對シマシテ如何ナル御計畫ガアル  
カト云フコトニ付キマシテ率直ニ一ツ御答  
辯ヲ煩ハシタイノデアリマス

○小泉國務大臣 御答ヘテ致シマス、只今  
大東亞建設ノ爲ニ風土病ノ對策ヲ確立シ、  
是ガ爲ニ必要ナル所ノ施設ノ完備ヲ期サナ  
ケレバナラナイ、斯ウ云フ御趣旨ノ御話ガ  
ゴザイマシタ、全ク御同感ニ感ズル次第デ  
アリマス、御説ノ通り東西古今ノ歴史ニ徴  
シマシテ、作戰上ハ固ヨリ、其ノ後ノ建設  
工作ノ根本ヲナスモノハ、其ノ土地ノ風土  
病撲滅、又之ニ對スル對策ノ確立徹底デア  
ルコトハ、只今御話ノゴザイマシタ通りデ  
ゴザイマスガ、一例ヲ申上ゲマスト、「マラ  
イ」ニ於ケル蚊ノ種類、此ノ「マラリア」ニ對  
スル特別ナ對策ト云フヤウナコトガ一例デ  
アリマスガ、斯ウ云フモノヲ基準トシテ作戰  
間ハ固ヨリ大キナ考慮ヲ拂ツタト云フヤウ  
ナコトガ、今回ノ作戰下ニ於テ御承知ノ通  
リニ非常ニ病人ガ少クシテ、作戰ガ進ミツ  
ツアツタト云フ大キナ原因ヲ成シテ居ル次  
第デゴザイマス、之ニ伴ヒマシテ作戰ト相  
並ンデ大東亞ノ建設ヲ致シマスル今日ニ於  
キマシテ、此ノ地域ノ益、廣大ニナリマス  
ニ從ヒマシテ、仰セノ通りノ風土病對策ト  
云フモノガソテラニ進展シテ行カナケレバ  
ナラナイ次第デアリマス、隨ヒマシテ今日  
ハ戰爭ヲ致シテ居リマスル關係カラ、總テ

隨ヒマシテ皇軍ノ赫々タル戰果ニ應ヘ、ソ  
レト表裏一體トナツテ直チニ政治、經濟、  
文化等ト云フ平和的ナ建設ガ進ムト云フコ  
トノ急務デアリマスコトハ申スマデモナイ  
ノデアリマス、サレバコソ軍政治下ニ於キ  
マシテモ大藏省所管ノ南方開發金庫ノ活動  
ガアリマス、或ハ又大東亞省ノ所管ニ關ス  
ル活動モアルノデアリマス、併シ國家ノ施  
策モ、或ハ又個人ノ生活ノ運營ニ於キマシ  
テモ、結局ハ體力ニ依存スルト云フコトカ  
ラ考ヘマスルナラバ、軍政治下ニアリトハ  
言ヘ、厚生省所管ノ此ノ地域ニ於キマスル  
御施策ト云フコトハ、極メテ重要デアリ、  
又焦眉ノ急務デアアルカトモ思フノデアリマ  
ス、只今ノ御答辯ニ依リマスレバ、只今ハ  
軍政治下ニアルカラ陸海軍ガヤツテ居ル、  
或ハ臺灣其ノ他ニ前進基地ヲ設ケマシテ、  
軍政ガ切換ヘニデモナレバ、之ヲ國策機關  
トシテ御所管ノ下ニオヤリニナルヤウナ御  
話デゴザイマシタガ、私ハ軍政治下ノ今日  
ニ於キマシテモ大イニ御所管ノ保健衛生、  
或ハ又風土病ニ對スル御施策ガ根本的ニ講  
ゼラレテ、一日モ早く、少シデモヨリ能ク  
徹底サレル必要ガアルノデハナイカト信ズ  
ル者デアリマス、此ノ點ニ付キマシテ色々  
ト御計畫サレテ居ラレルコトハ實ニ推察ニ  
餘リアルノデアリマシテ、又其ノ御勞苦ニ  
對シマシテハ衷心多ク致シテ居リマスルガ、  
重ねテ申上ゲマス、軍政治下ニアリト雖モ、  
先刻申上ゲタヤウナ理由ニ依リマシテ、一  
日モ早く徹底シタ調査機關ヲ設置致シ、サ  
ウシテ風土病ノ征服ニ萬全ヲ期シ、何ソゾ  
敢テ軍政ノ切換ヘニナル時ヲ待ツベケンヤ  
ト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ  
モウ一應御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

的ノ施策トシテハ洵ニ貧弱ナモノデアリマス、  
隨ヒマシテ私ハ大東亞共榮圈建設ノ最モ重  
要ナ根本問題ト致シマシテ、此ノ際特ニ國家  
ハ大東亞共榮圈内部ニ於ケル適地ニ、權威  
ノアル熱帯病研究ノ機關、或ハ衛生機關ヲ  
特設致シマシテ、徹底的ニ根本的ニ風土病、  
或ハ熱帯病ニ對スル調査研究ヲ致シ、而シ  
テ熱帯病ニ對スル所謂豫防醫學、或ハ治療  
醫學ヲ高度ニ發達セシメマシテ、此處ニ進  
出スル邦人ノ健康ヲ保全スルハ勿論、原住  
民ノ疾病苦ヲ解消シテ、而シテ彼等ヲ我が  
國ノ科學、我が國ノ醫學ノ優秀性ニ信倚セ  
シメルト云フコトガ極メテ大事デアルト思  
フノデアリマス、私ハ大東亞共榮圈內十億ノ  
民ノ共存共榮ヲ致ス爲ニ付キマシテハ色々  
ナ施策ガアリ、或ハ根本的ノ問題モアリマ  
セウケレドモ、先ヅ彼等ノ人心ヲ把握スル  
ト云フコトガ最モ先決的ナ根本要請デア  
ルト思ヒマス、其ノ爲ニ彼等ガ常ニ惱ンデ居  
ル疾病苦ヲ解消セシメテヤルト云フコトハ

軍政下ニ置カレテ居リマスルノデ、陸海  
軍ニ於キマシテ其ノコトヲ擔當致シテ居ル  
コトハ御承知ノ通りデアリマスガ、大東亞  
地域内ニ於テハ英、蘭諸國ガ其ノ植民政  
策ノ完備ヲ期シマスル爲ニ、色々ノ調査研究  
ノ機關ヲ各地ニ分散致シテ持ツテ居リマス、  
是等ノモノヲ綜合致シマシテ運營スルト云  
フコトハ、全ク御説ノ通り非常ナ根本ノ問  
題デゴザイマス、今マデハ御承知ノ通りニ  
臺灣ヲ此ノ風土病對策研究調査ノ基地トシ  
テ、色々ノ施設ヲ臺灣ニ重點ヲ置イテ居リ  
マシタガ、此ノ基地ガ進出致シマシテ、モツ  
ト南ノ適當ナル所ニ前進基地ヲ今日作ツテ  
居ルヤウナ次第デゴザイマス、之ニ依リマ  
シテ、軍政ヨリ愈、建設ノ末期ニ至ツタ場合  
ニ於テノ新ナル綜合的運營機關トセシメ  
ルト云フ風ニ政府ト致シマシテハ只今考ヘ  
テ居ル次第デゴザイマス、之ニ依リマシテ  
將來大キナ大東亞建設ヘノ風土病對策トシ  
テノ調査機關ノ基地ト云フモノガ、只今前  
進基地トセラレテアル所ニ變ツテ來テ、是  
ガ國家ノ大キナ研究調査、指導機關トナラ  
シムルヤウニ準備ニ誤マリナイヤウニ今日  
ノ綜合的運營ノ連絡ヲ密ニ致シテ居ルヤウ  
ナ次第デゴザイマス、御説ノ通り今後益、其  
ノ點ニ付テハ大キナ力ヲ持ツ大ナル調査研  
究指導機關ヲ設置致スト云フ氣持デ、既ニ  
其ノ根本ノ方針ダケハ確立ヲ致シテ居ルヤ  
ウナ次第デアリマス

○藤本委員 風土病征服ニ對シマスル政府  
ノ御懇篤ナル御所見ヲ拜承致シタノデアリ  
マスガ、大東亞共榮圈建設ハ一面ニ於テ武  
力戰、又一面ニ於テハ建設デアアル、而モ二  
ニシテ一デアリマシテ、戰爭即建設デアリ  
マスコトハ申スマデモナイノデアリマス、

隨ヒマシテ皇軍ノ赫々タル戰果ニ應ヘ、ソ  
レト表裏一體トナツテ直チニ政治、經濟、  
文化等ト云フ平和的ナ建設ガ進ムト云フコ  
トノ急務デアリマスコトハ申スマデモナイ  
ノデアリマス、サレバコソ軍政治下ニ於キ  
マシテモ大藏省所管ノ南方開發金庫ノ活動  
ガアリマス、或ハ又大東亞省ノ所管ニ關ス  
ル活動モアルノデアリマス、併シ國家ノ施  
策モ、或ハ又個人ノ生活ノ運營ニ於キマシ  
テモ、結局ハ體力ニ依存スルト云フコトカ  
ラ考ヘマスルナラバ、軍政治下ニアリトハ  
言ヘ、厚生省所管ノ此ノ地域ニ於キマスル  
御施策ト云フコトハ、極メテ重要デアリ、  
又焦眉ノ急務デアアルカトモ思フノデアリマ  
ス、只今ノ御答辯ニ依リマスレバ、只今ハ  
軍政治下ニアルカラ陸海軍ガヤツテ居ル、  
或ハ臺灣其ノ他ニ前進基地ヲ設ケマシテ、  
軍政ガ切換ヘニデモナレバ、之ヲ國策機關  
トシテ御所管ノ下ニオヤリニナルヤウナ御  
話デゴザイマシタガ、私ハ軍政治下ノ今日  
ニ於キマシテモ大イニ御所管ノ保健衛生、  
或ハ又風土病ニ對スル御施策ガ根本的ニ講  
ゼラレテ、一日モ早く、少シデモヨリ能ク  
徹底サレル必要ガアルノデハナイカト信ズ  
ル者デアリマス、此ノ點ニ付キマシテ色々  
ト御計畫サレテ居ラレルコトハ實ニ推察ニ  
餘リアルノデアリマシテ、又其ノ御勞苦ニ  
對シマシテハ衷心多ク致シテ居リマスルガ、  
重ねテ申上ゲマス、軍政治下ニアリト雖モ、  
先刻申上ゲタヤウナ理由ニ依リマシテ、一  
日モ早く徹底シタ調査機關ヲ設置致シ、サ  
ウシテ風土病ノ征服ニ萬全ヲ期シ、何ソゾ  
敢テ軍政ノ切換ヘニナル時ヲ待ツベケンヤ  
ト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ  
モウ一應御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

ル疾病苦ヲ解消セシメテヤルト云フコトハ

軍政下ニ置カレテ居リマスルノデ、陸海  
軍ニ於キマシテ其ノコトヲ擔當致シテ居ル  
コトハ御承知ノ通りデアリマスガ、大東亞  
地域内ニ於テハ英、蘭諸國ガ其ノ植民政  
策ノ完備ヲ期シマスル爲ニ、色々ノ調査研究  
ノ機關ヲ各地ニ分散致シテ持ツテ居リマス、  
是等ノモノヲ綜合致シマシテ運營スルト云  
フコトハ、全ク御説ノ通り非常ナ根本ノ問  
題デゴザイマス、今マデハ御承知ノ通りニ  
臺灣ヲ此ノ風土病對策研究調査ノ基地トシ  
テ、色々ノ施設ヲ臺灣ニ重點ヲ置イテ居リ  
マシタガ、此ノ基地ガ進出致シマシテ、モツ  
ト南ノ適當ナル所ニ前進基地ヲ今日作ツテ  
居ルヤウナ次第デゴザイマス、之ニ依リマ  
シテ、軍政ヨリ愈、建設ノ末期ニ至ツタ場合  
ニ於テノ新ナル綜合的運營機關トセシメ  
ルト云フ風ニ政府ト致シマシテハ只今考ヘ  
テ居ル次第デゴザイマス、之ニ依リマシテ  
將來大キナ大東亞建設ヘノ風土病對策トシ  
テノ調査機關ノ基地ト云フモノガ、只今前  
進基地トセラレテアル所ニ變ツテ來テ、是  
ガ國家ノ大キナ研究調査、指導機關トナラ  
シムルヤウニ準備ニ誤マリナイヤウニ今日  
ノ綜合的運營ノ連絡ヲ密ニ致シテ居ルヤウ  
ナ次第デゴザイマス、御説ノ通り今後益、其  
ノ點ニ付テハ大キナ力ヲ持ツ大ナル調査研  
究指導機關ヲ設置致スト云フ氣持デ、既ニ  
其ノ根本ノ方針ダケハ確立ヲ致シテ居ルヤ  
ウナ次第デアリマス

○藤本委員 風土病征服ニ對シマスル政府  
ノ御懇篤ナル御所見ヲ拜承致シタノデアリ  
マスガ、大東亞共榮圈建設ハ一面ニ於テ武  
力戰、又一面ニ於テハ建設デアアル、而モ二  
ニシテ一デアリマシテ、戰爭即建設デアリ  
マスコトハ申スマデモナイノデアリマス、

隨ヒマシテ皇軍ノ赫々タル戰果ニ應ヘ、ソ  
レト表裏一體トナツテ直チニ政治、經濟、  
文化等ト云フ平和的ナ建設ガ進ムト云フコ  
トノ急務デアリマスコトハ申スマデモナイ  
ノデアリマス、サレバコソ軍政治下ニ於キ  
マシテモ大藏省所管ノ南方開發金庫ノ活動  
ガアリマス、或ハ又大東亞省ノ所管ニ關ス  
ル活動モアルノデアリマス、併シ國家ノ施  
策モ、或ハ又個人ノ生活ノ運營ニ於キマシ  
テモ、結局ハ體力ニ依存スルト云フコトカ  
ラ考ヘマスルナラバ、軍政治下ニアリトハ  
言ヘ、厚生省所管ノ此ノ地域ニ於キマスル  
御施策ト云フコトハ、極メテ重要デアリ、  
又焦眉ノ急務デアアルカトモ思フノデアリマ  
ス、只今ノ御答辯ニ依リマスレバ、只今ハ  
軍政治下ニアルカラ陸海軍ガヤツテ居ル、  
或ハ臺灣其ノ他ニ前進基地ヲ設ケマシテ、  
軍政ガ切換ヘニデモナレバ、之ヲ國策機關  
トシテ御所管ノ下ニオヤリニナルヤウナ御  
話デゴザイマシタガ、私ハ軍政治下ノ今日  
ニ於キマシテモ大イニ御所管ノ保健衛生、  
或ハ又風土病ニ對スル御施策ガ根本的ニ講  
ゼラレテ、一日モ早く、少シデモヨリ能ク  
徹底サレル必要ガアルノデハナイカト信ズ  
ル者デアリマス、此ノ點ニ付キマシテ色々  
ト御計畫サレテ居ラレルコトハ實ニ推察ニ  
餘リアルノデアリマシテ、又其ノ御勞苦ニ  
對シマシテハ衷心多ク致シテ居リマスルガ、  
重ねテ申上ゲマス、軍政治下ニアリト雖モ、  
先刻申上ゲタヤウナ理由ニ依リマシテ、一  
日モ早く徹底シタ調査機關ヲ設置致シ、サ  
ウシテ風土病ノ征服ニ萬全ヲ期シ、何ソゾ  
敢テ軍政ノ切換ヘニナル時ヲ待ツベケンヤ  
ト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ  
モウ一應御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 一寸速記ヲ止メテ載キマス

○清水委員長 速記ヲ止メテ下サイ

(速記中止)

○藤本委員 次ニ先程ノ御答辯ノ中ニアツタノデアリマスガ、私ノ又御尋ネ致シタイト云フ點デモアリマシタノデ、更ニ御尋ネ致シマス、ソレハ大東亞戰爭開戦前英、米、蘭諸國ガ彼等ノ植民地經營ノ基本要件ト致シマシテ、風土病、熱帯病ニ關スル研究機關ヲ「マニラ」ニ「ジャワ」ニ、或ハ「マライ」ニ持ツテ居ツタノデアリマスガ、今是等ノ諸機關ヲドウ云フ風ニ接收シテ居ルカ、今後ドウスルカト云フコトニ付キマシテモウ少シ具體的ニ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 仰セノ通り各地ニ調査研究機關ガゴザイマシテ、是等ヲ接收致シマシテ、其ノ中ノ研究員、調査員、是ガ何處マデモ帝國ノ軍政ニ強ク反抗シテ參リマスル者ハ別ト致シマシテ、然ラザル者ハ之ヲ抑留、或ハ俘虜ト云フコトト致サズシテ、其ノ儘仕事ヲ繼續セシムルト云フ根本ノ方針ヲ執ツテ居リマシテ、今日彼等ハ自由ノ研究ヲ何處マデモ進メツアルヤウナ次第デゴザイマス、サウシテ色々ナ研究ト云フモノヲ皆繼メマシテ、是ガ軍ノ其ノ途ノ專門家ノ指揮、又指導ノ下ニ綜合的ニ今日運營サレテ居ルヤウナ次第デアリマス、新シク非常ナ施設ガ要地ニハ出來テ居ルノデアリマス、ソレニ呼應致シマシテ、例ヘテ申シマスルト、非常ニ大キナ病院ナドガ此ノ作戰中ニ日本ノ手ニ依ツテ新シク出來テ居リマス、此ノ大キナ病院等ニ只今ノモノガ附屬致シマシテ、從來以上ニ速カニ研究ヲ進メルト云フヤウナ形ガ今整ヒツツアリマ

○藤本委員 次ニ醫療並ニ藥事衛生ガ國民ノ體力ノ向上、人口ノ増強ニ極メテ重要ナル關係ヲ持ツテ居リマスコトハ、申スマデモナイノミナラズ、此ノコトハ昨日ノ御説明ニモゴザイマシタガ、大東亞共榮圈建設ノ爲ニ重要ナル契機トナルハ勿論、十億民衆ノ福祉ヲ増進シ、又民心ノ把握ニ寄與スル所極メテ重大ナルモノガアルノデアリマス、且又大東亞共榮圈内ニハ醫藥等ニ、重要ナル關係ノアル資材ガ無盡藏ニアルヤニモ存ジテ居リマスノデ、之ヲ調査研究シ、或ハ採取シテ、之ヲ醫藥化致シ、次デ醫療ニ、或ハ藥事衛生ニ貢獻セシムルコトハ極メテ重要ナルコトデアアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ茲ニ私ハ今後大東亞共榮圈内ニ於ケル醫藥、或ハ衛生資材等ノ製造、配給、輸出、貯藏等ニ付キマシテハ、特別ノ構想工夫ガ必要デナイカト思フノデアリマス、今マデノ機構ニ之ヲ俟ツト云フコトモ一ツノ手デアリマセウケレドモ、本法ガ成立シタ

○小泉國務大臣 大東亞ノ十億民衆ノ爲メ、又更ニ此ノ藥物ノ中ニハ、世界ノ將來經濟界ヲ支配スル大キナ鍵トモナルヤウナ、例ヘバ「キナ」ノヤウナモノモアリマスノデ、凡ユル面カラ考ヘマシテ、此ノ醫藥品ノ資材ノ極メテ豊富ナル南方ニ於キマシテ、此ノ資材ヲ潤渴セシメナイヤウナ措置ヲ只今講ジツアル次第デゴザイマス、而シテ厚生省カラモ調査班ヲ出シテ、次第デアリマス、軍政ノ根本ノ大キイ問題ハ、治安確立ト云フコトト、此ノ重要物資ノ蒐集確保ト云フコトニ指向サレテ居リマスノデ、此ノ大眼目ノ一ツノ資材ノ蒐集確保ト云フコトニ今日非常ニ骨ヲ折ツテ居ル次第デゴザイマス、此ノ現狀ヨリ推シマシテ、將來、或ハ今日ヨリ既ニ着手スベキ、即チ只今御指摘ニナリマシタ製造、販賣、貯藏、配給ト云フヤウナコトニ對スル一ツノ大キイ機關ヲ考ヘルト云フコトハ當然起ツテ來ル問題デゴザイマシテ、今日ハ一ツノ如何ニ之ヲヤツテ行クカト云フコトヲ決メルベキ重要ナル時期ニ達シツツアルノデアリマス、サウシテ一ツノ大キイ製造、貯藏、配給ト云フヤウナ内地トノ關聯性ヲ持タシタル所ノ施設ヲ考慮スルト云フコトト、今日研究ヲ進メツツアリマス、近キ内ニ成案ヲ得マスレバ、具體化ヲ見ル、斯ウ考ヘテ居リマス

○藤本委員 只今藥事等ニ付キ國家的施策ノ御抱負ヲ伺ヒマシタコトニ付テハ洵ニ敬意ヲ表シマス、冀クハ速カニ、而モ權威ノアル、即チ從來南方諸地域ノ支配者タリシ英、米、蘭ノ持ツテ居リマシタ所ノ機構、或ハ研究施設ヨリモ更ニ高度ナ内容ヲ持ツテ、眞ニ南方諸地域ノ原住民ノ心カラ心服セシムルヤウナ機構、或ハ施策ヲ徹底シテ御實現下サラントヲ要望致シマス

○藤本委員 是モ亦昨日同僚議員ヨリ御觸レニナツタ問題デアリマスガ、私ハ聊カ視野ヲ異ニ致シマシテ、御尋ネ致シマス、ソレハ我が國民ノ體力ノ向上、人口増強ニ付キマシテ、結核ニ次イデノ最モ憂慮サレテ居ル所ノ問題デアアルカラデアリマス、昨日厚生次官ハ昭和十三年、十四年ノ出生率ハ減ツテ居ルガ、十五年カラハ良クナツタト云フ御示シデアリマス、其ノ通りデアリマス、昭和十五年ハ髓力二百一十一万、十六年ハ是ハ推定デアリマスガ、大體二百一十二万ト云フコトニナツテ居リマシテ、聊カ安堵ヲ致スノデアリマスガ、併シソレニ致シマシテモ、マダ日本ノ出生率ハ人口千ニ對シマシテ僅力ニ三十ヲ割ツテ居リマス、「ソ」聯ト支那ノ四十ニ比ベマスレバ、實ニ低イノデアリマシテ、

(委員長退席、勝又委員長代理着席)  
而モ生率ノ低下ト云フコトハ、其ノ國家民族ガ青年國家ナリヤ、或ハ老衰國家ナリヤトスル所ノ重要ナル契機デアリマスノデ、若干回復シタトハ言ヘ、大イニ關心事デアラネバナラスト思フノデアリマス、而モ尙ホ茲ニ問題ハ我が國ノ乳幼児ノ死亡率ハ英、米、獨等ニ比ベマシタラ非常ニ高イノデアリマシテ、彼等ノ出生率百ニ對スル五乃至六ニ對シマシテ、我が國ハ餘程ソレヨリ上廻ツテ居ル、然ルニ統計ナドニ依ツテ見マスルト、生レタ者ガ壯年ニ達スルマデニハ三〇%減ル、是ガ若シ英、米、獨並ニ一割ニ低減致シマスルナラバ茲ニ壯丁四十万ガ助カツテ來ル、國防或ハ戦力増強ノ上ニ實ニ重大ナ問題デアリマス、ソコデ何トシテモ人口ノ増強、或ハ國民ノ體力ノ向上ノ觀點カラ致シマシテ、乳幼児ノ死亡率ト云フモノヲ低下セシメナケレバナナリマセマスガ、ソレニ付キマシテ何ガ故ニ斯クノ如ク乳幼児ノ

策デアリマス、是モ亦昨日同僚議員ヨリ御觸レニナツタ問題デアリマスガ、私ハ聊カ

死亡率が高イカト云フ根本原因ヲ探究セ  
ネバナリマセヌ、私ノ考ヘテ以テシマスレ  
バ、妊婦ノ保護ガ不十分デアリマシテ、胎兒  
ノ發育ガ不完全ニシテ生レルト云フコトガ  
其ノ一ツデアリマス、第二ニハ保育ガ不適  
正デアリマスルガ故ニ夏ハ消化器ヲ害シ、  
冬ハ呼吸器ヲ傷メルト云フヤウナコトガ死  
亡率ノ高イ重大原因ニナツテ居リマス、  
隨ヒマシテ乳幼兒ノ死亡率ヲ低下セシムル  
爲ニハ、此ノ由ツテ來ル所ノ原因ヲ解消セ  
シムルコトガ必要デアリマス、ソコデ御尋  
ネ致シタイコトハ妊婦ノ保護ヲ致ス爲ニ妊  
婦登錄、ソシテ胎兒ノ保護ヲ十分ニスル御  
考ヘハナイカドウカ

第二ニハ保育ノ完璧ヲ期スル爲ニ乳幼兒  
ノ體力検査、或ハ體力管理、其ノ御考ヘガア  
ルカドウカ、隨ヒマシテ之ニ關聯シマシテ、  
乳製品ノ製造ヲ適量ニ致シテ、其ノ配給ヲ  
確保スル、或ハ育兒ノ衣料ノ配給ヲ確保ス  
ル、或ハ又繻帶トカ「ガーゼ」、脱脂綿等ヲ配給  
ヲ適量ニスル、更ニ現在ニ於キマシテ、マ  
ダ田舎ニ參リマスト適當ナ産婆ノナイ村ガ  
隨分アリマス、ソコデ公設産婆ヲ置ク御考  
ヘガアルカドウカ、是ハ後デモ御尋ネ致シ  
タイト思ヒマスガ、田舎ニ醫者ガナイ、或  
ハ藥局ガナイト云フコトハ大ナル國家ノ問  
題デアリマスガ、其ノ理由ハ經濟的ノ不採  
算カラ來ルノデアリマス、一片ノ法ノ規定  
ヲ以テシテハ決シテ藥局トカ、醫師ノ立地  
關係ハ解消致シマセヌ、産婆ノナイノモヤ  
ハリ經濟的不採算ニ因ル點モアルノデアリ  
マス故ニ、産婆ノナイ地域ニ於キマシテハ  
公設産婆ヲ置ク、ソシテ國家ガ其ノ面倒ヲ  
見ル等各般ノ措置ヲ講ズルデナケレバ乳幼  
兒ノ死亡率ヲ低減セシメル方途トハナラス

ノデアリマス、更ニ又早産、流産、死産、是ガ  
大體年ニ數十方アルヤウニ聞イテ居リマス、  
其ノ原因ハ那邊ニアルカ、是ガ對策ハドウ  
カト云フコトニ付キマシテ御懇篤ナル御説  
明ヲ仰ギタイノデアリマス

○小泉國務大臣 人口増強ノ觀點カラ致シ  
マシテ乳幼兒ノ死亡低下ヲ最モ必要ト致シ  
マスコトハ全く御同感デゴザイマス、御説  
ノ通り是ガ防止出來マスレバ四十万ハ浮イ  
テ來ル譯デゴザイマスカラ、政府ト致シマ  
シテモ之ニ付テハ強ク重點的ニ對策ヲ施行  
シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、  
之ニ付キマシテ妊婦ノ保護ガ不十分デア  
ルト云フコトガ御指摘ニナリマシタガ、洵ニ  
從來サウ云フ點ガ多分ニアツタコトハ否定  
ノ出來ナイコトト存ジテ居リマス、就キマシ  
テハ妊産婦ノ手帳制ヲ執リマシテ、之ヲ何  
處マデモ、モツト實地ノ上ニ徹底シテ行ク  
ト云フ風ニ今日指導ヲ致シテ居リマスルガ、  
マダソレガ實施ノ上ニ徹底シテ居ラヌ  
ト云フ點ハ洵ニ遺憾ニ存ジテ居リマス、併  
シナガラ此ノ手帳制ガ能ク諒解セラレテ、  
又運營上ニ旨ク參リマス時ニハ、只今御話  
ノアリマシタ乳製品、或ハ他ノ生活必需品  
ト云フヤウナ物ノ配給ニ付テ、農林或ハ商  
工トモ此ノ點ハ優先的ニ配給スルヤウニ計  
畫ガ出來上ツテ居リマシテ、此ノ人達ニ對  
シマシテハ別箇ニ配給ヲ考ヘテ居ルヤウナ  
次第デゴザイマス、又保育ノ不徹底ト云フ  
ヤウナ點ニ對シマシテモ、是亦御指摘ノ通  
リ從來洵ニ不徹底ナ感ガゴザイマス、此ノ  
二ツノ徹底シタ地方ニ於キマシテハ乳幼兒  
ノ死亡ハ實ニ少イノデアリマシテ、曾テハ  
出生百ニ對シテ十幾ラト云フヤウナ乳幼兒  
ノ死亡ヲ持ツテ居ツタ地方ガ、今日ハ驚ク

ベシ、一トカ三トカ云フヤウナ、諸外國ニモ  
ナイ數字ヲ示シテ居ル地方モアルヤニ承知  
致シテ居リマス、要スルニ妊産婦ノ保護、保  
育ノ徹底ト云フコトニアルノデアリマシテ、  
御説ノ通り此ノ點ハ何處マデモ將來進メテ  
行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、  
就キマシテハ乳幼兒ノ體力管理、是ハ今マ  
ダハ特殊ノ乳幼兒ノ身體検査ヲヤルト云フ  
ヤウナ譯デ、是モ實施ノ點ニ於テハ過去ニ  
於テ不十分ナ點ガゴザイマシタノデ、本年  
ハ實施ノ上ニモ十分ノ注意ヲ致シマシテ此  
ノ保育ノ適正ヲ期スルヤウニシテ行キタイ  
ト考ヘテ居リマス、殊ニ一ツ、茲ニ大キナ  
存在トシテアリマスモノハ早産、流産ト云  
フヤウナモノノ原因ヲ調べテ見マス、全  
ク妊娠中ノ處置ニ十分手ガ届イテ居ラナイ  
ト云フコトニアツタモノガ非常ニ大キナ數  
字ヲ占メテ居ルト云フコトガ、斯界ノ専門  
家ノ調査デ明カニナリマシタノデ、今回産  
科、婦人科ノ専門醫諸君ノ一ツノ報國團體  
ガ結成セラレマシテ、地方的ニハ其ノ仕事  
ヲ昨年來進メテ戴キマシテ、非常ニ此ノ方  
面ニモ大キナ成績ヲ擧ゲ、早産、流産ヲ防  
ギツツアリマスヤウナ事績ニ鑑ミマシテ本  
年ヨリハ是ノ徹底ヲ期シ、全國的ニ此ノ行  
キ方ニ從ツテ早産、流産等ヲ防止シ、且ツ  
十分安産ノ出來ルヤウニ、而モ健ヤカナ子  
供ガ生レル、生レタ子供ノ保育ニ付テモ凡  
ユル方面カラ、即チ健康指導ノ方面カラ又資  
材ノ配給ノ方面カラ、各方面カラ綜合的ニ  
乳幼兒ノ保護ヲ徹底強化スルト云フ施策ヲ  
講ズル所存デゴザイマシテ、其ノ爲ニソレ  
ゾレノ豫算的ノ措置モ講ジタヤウナ次第デ  
ゴザイマス

尙ホ公設産婆ヲヤル考ヘガアルカドウカ

ト云フ御尋ネデゴザイマシタガ、マダ今日  
ソコマデニハ政府トシテハ届イテ居リマセ  
ヌ、是ハ御説ノ通り無醫村ノ問題等トモ考  
ヘ併セマシテ篤ト研究ヲ致シテ見タイト考  
ヘマス

○藤本委員 人口國策ニ對シマシテハ一面  
殖ヤシ、一面生レタ者ヲ殺サヌト云フコト  
ガ要諦デアルト思ヒマス、昭和三十五年ヲ  
以テ内地人口一億ヲ期スルコト云フ此ノ國策ニ  
對シマシテ、豫テノ御努力ニ對シテハ敬意  
ヲ表シマスガ、尙ホ今後モ益、此ノ目的達成  
ノ爲ニ專家デアリ、斯界ノ權威デアラセ  
ラレマスル大臣ニ於カレマシテハ、特別ノ  
御考慮ヲ仰ギタイノデアリマス

第三ニ結核對策デアリマス、是亦昨日觸  
レラレタ問題デアリマスガ、他ノ角度カラ  
御尋ネヲ致シタイト思ヒマス、最近醫者ノ  
死亡診斷ニ依リマスル結核ノ患者ノ死亡者  
ハ、大體年二十五万位ト存ジマス、併シ醫  
者ガ結核死亡トシテ届出ハセヌケレドモ、  
事實結核デ死ヌ者ハ數方アラウト思ヒマス、  
隨ヒマシテ年々歳々結核デ死ヌ者ハ二十万  
ト大體推定致シマス、此ノ事實カラ逆算致  
シマス、大體日本ノ結核患者ハ二百万前  
後デハナイカト思ヒマスガ、而モ其ノ中ノ  
半數以上ガ青年層デアアル、而モ其ノ罹病率、  
殊ニ青年ノ罹病率ハ次第ニ増進シテ居ルト  
云フコトハ、戦力増強ノ急務ナル時洵ニ寒  
心ニ堪ヘナイノデアリマス、若シ是ガ適當  
ナル方策ニ依リマシテ阻止救済致シ得ルナ  
ラバ、國防上、或ハ産業戦士ノ養成ノ上ニ  
於キマシテ、或ハ國民ノ結核對策ト致シマ  
シテ洵ニ喜バシイコトト考ヘマス、且又「ツ  
ベルクリン」反應、或ハ「マンントー」氏反應ニ  
依リマスルナラバ、大體陽性ニ出ナイ青年

ハ少イト云フコトヲ聞クニ至リマシテハ、  
洵ニ寒心ニ堪ヘナイ次第アリマス、併シ大  
體是等ノ反應ノ結果ハ陽性デアルト致シマ  
シテモ、發病致ス者ハ其ノ中デ寥々タルモ  
ノデアルト云フコトデアリマス、茲ニ我が  
國ノ結核對策ノ方途ガ示唆サレテ居ルと思  
ヒマス、即チ一ツニハ感染豫防フスルト云フ  
コトト、更ニ發病ノ防止ヲ致スト云フコト  
ガ結核對策ノ非常ナル要諦デアルト思フ  
デアリマス、昨日來結核對策ニ付キマシテ  
ハ發病後ノ治療ト云フコトニ付テノ國家對  
策ヲ縷々御説明ヲ仰ギマシタガ、マダ發病ヲ  
防止スル施策ニ付キマシテハ承ツテ居リマ  
セヌ、私ハ營養不良、過勞、或ハ心身ノ鍛鍊  
ガ足ラヌト云フヤウナコトニ因リテ結核ノ  
抵抗力ガ非常ニ減退致シ、ソレガ原因トナ  
リマシテ發病スルヤウニ聞イテ居リマス、  
隨ヒマシテ發病防止ノ方途モ是カラ示唆ヲ  
受ケルノデアリマスガ、私ハ素人デアリマ  
スカラ分リマセヌノデ、専門家ノ大臣カラ  
發病防止ノ方策ニ付テ承リタイト思ヒマス、  
且又最近ノ醫學界ノ動向ハ、治療醫學ヨリ  
モ豫防醫學ニアルト云フコトガ喧傳サレテ  
居リマス、隨ヒマシテ豫防醫學ノ發達ト云  
フコトハ結核ノ發病防止ニ對シマシテハ非  
常ニ重要ナモノデアリカト信ズルモノデア  
リマス、此ノ點ニ付キマシテモ篤ト御説明  
ヲ仰ギタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 結核對策ノ中ニ重要ナル  
發病防止ト云フ部面ガアルト云フ御説ニ對  
シマシテハ、全ク其ノ通りデアルト存ゼラ  
レマス、隨ヒマシテ今回政府ハ結核撲滅對  
策ヲ閣議デ決定ヲ致シマシテ、之ニ對スル  
對策ノ重要ナル國家意思ヲ表明致シタ次第  
デアリマスガ、兎ニ角從來結核ト云フモノ

ハ唯病氣ト云フ譯デ、是ハ醫師ノ關係ノモ  
ノデアル、厚生部面ノ問題デアルト云フ風  
ニ考ヘラレルコトヲ先ヅ以テ是正ヲ致シマ  
シテ、厚生、教育、産業其ノ他各行政部面  
ニ於テ是ガ綜合的ニ取上ガラレナケレバナ  
ラナイノミナラズ、又社會ト致シマシテモ  
凡ユル生活分野ニ於テ是ガ共同的ニ取上ガ  
ラレタモノデナケレバナラナイト云フコト  
ニ方針ヲ決メマシタ次第デアリマス、而シテ  
只今御指摘ノアリマシタヤウニ、日本ノ結  
核ガ蔓延シテ居ルト云フコトガ外國ト全ク違  
ツテ居リマスノハ、青年層ニ特別ノ大キナ  
結核罹病ノ山ガアルト云フコトデゴザイマ  
スノデ、此ノ山ヲ崩シマスレバ日本ノ結核蔓  
延ノ狀況ハ、大體諸外國ノ結核ノ少イ國ト  
言ハレル所ニ近似スルノデゴザイマス、此ノ  
山ヲ崩セト云フ所ニ此ノ對策ノ施行目標ヲ  
定メマシタ、所ガ只今御話ノゴザイマスル  
ヤウニ、今日其ノ青年層ニ於テ所謂軍デ申  
ス筋骨薄弱、弱々シクテ、而モ放ツテ置ク  
ト、サウ云フ人ガ結核ニナリ易イト云フ身  
體ノ人ガ大體四十万人居リマス、此ノ人ヲ兎  
ニ角救ツテ發病防止ヲヤラナケレバナラス、  
斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、今回全國ニ、サ  
ウ云フ弱イ人デアリマスルカラ、只今御話ノア  
リマシタ榮養ノ上ニ或ハ自分ハ丈夫ナノダ、  
決シテ肺病ナドニ罹ラナイノダト云フ自覺  
ヲ持タセルヤウナ一ツノ生活修練ヲ與ヘタ  
イ、斯ウ考ヘマシテ、昨年來ニ、三ノ地方ニ  
其ノ準備的、試驗的ノ施設ヲ講ジテ見マシタ  
ガ、其ノ成績ガ餘リニモ良好デアリマスコ  
トニ鑑ミ、此ノ實績ニ徴シマシテ、全國ニ  
明年度約千三百箇所ノ健民修練所ト云フ名  
ノ付キマシタモノヲ設置致シマシテ、此處  
ニ約二箇月間收容ヲ致シテ、健民生活ヲ體

得セシムルト云フコトニ致シタイ、即チ樂  
ニ氣ヲユツクリ持タセ、而モ安シテ仕事  
ヲサセルト云フコトニシテ、其ノ間ニ生活  
指導ヲヤラウ、斯ウ考ヘテ居リマス、是ガ  
發病防止ノ最モ大キナ行キ方デアルト云フ  
風ニ考ヘテ居リマス、勿論最初ニ申シマシ  
タ生活各分野、行政各分野ヲ舉ゲテ之ニ協  
カスルト云フ考ヘデ居リマス、此ノ青年層  
ノ結核ニ對シテ大キナ關係ヲ持ツテ居リマ  
スノハ學校職員、學生ト云フモノモアリマ  
スノデ、是等ハ文部省ト致シマシテモ同ジ  
線ニ沿フテ行ツテ貫フヤウニ致シタイト考  
ヘテ居リマス、更ニ國民ノ全般ニ對シマシ  
テ氣ハ病、病氣ハ氣ダト云フヤウナ氣持ヲ  
ハツキリ持タセタイト云フノデ、丈夫ナ人  
ニモ何處マデモハツキリシタ精神ヲ持ツテ  
仕事ニ勵ムヤウナ、即チ私共ハ病ニ罹ラナ  
イ、不罹病ナ強イ心身ノ保持者デアルト云  
フ鍛鍊ヲ丈夫ナ人ニハ獎メテ行キタイト考  
ヘテ居リマス、斯ウ云フ見地カラ從來ノ醫  
學教育ガ所謂個人治療ノ醫學ニ偏シテ居リ  
マシタコトカラシテ、文部當局ト協議ノ上、  
彼ノ學制ノ改革ヲ俟ツマデモナク、先ヅ以  
テ醫育ノ根本ノ内容ノ刷新ト云フコトヲ急  
遽實施シテ行クト云フコトヲ定メマシテ、  
文部當局デ今回治療醫學ニ一方ニ偏シタ  
嫌ヒノアツタ醫育ヲ、只今御話ノ豫防醫學  
ト、即チ根本ノ社會保健、國家保健ト云フ  
コトノ醫學ニ大キナ醫育ノ内容ヲ持タセル  
ヤウナ準備ヲ今進メテ居ル次第デアリマス

○藤本委員 只今ノ御答辯ニハ洵ニ敬意ヲ  
表スルノデアリマスガ、益、其ノ完璧ヲ期  
スル爲ニ御指導、御施策ヲ仰ギタイノデゴ  
ザイマス、尙ホ結核ニ付キマシテモウ一點  
御伺ヒ致シタイト思ヒマスコトハ、或ハ工

場ノ、或ハ鑛山等ノ産業戰士ノ結核罹病者ガ  
非常ニ増加シテ居ルト云フコトデアリマス、  
更ニ徵用工ニ付キマシテハ、昨日モ御話ガ  
アリマシタガ、身體検査ヲ致シテ探ル、而  
モ即日歸郷モアルト云フ御話デアリマス、  
サウ云フ事例モ存ジテ居リマスガ、併シ又  
一面ニ於キマシテハ、徵用工ト云フモノハ  
白樺應召ト云フ意味モアリマシテ、本人ト  
致シマシテハ非常ニ光榮ニ存ジマシテ徵用  
サレテ居リマスノデ、少々ノ病氣ヲ隱シテ  
參ルト云フヤウナ健氣ナ心掛ガアリマス、  
隨ヒマシテ指定サレタル工場、或ハ其ノ他  
ニ參リマス、間モナク發病致スト云フ例  
ガ多スアルノデアリマシテ、之ニ對スル對  
策宜シキヲ得マセヌトナルト、由々シキ問  
題ダト思フノデアリマス、ト申シマスコト  
ハ、左様ナ銃後ノ産業戰士ノ間カラ結核患  
者ガ隨分出ルト云フコトハ、其ノ者モ非常  
ニ不幸デアルガ、後ニ殘リマス産業戰士ニ  
對シテ非常ニ陰慘ナ氣持ヲ與ヘルノデアリ  
マス、サウシテ能率ヲ低下セシメル、更ニ  
又結核ニ罹病致シマシテ歸郷スルコトハ、  
聽テ一家眷族ニ對シマシテ病毒ノ傳播トモ  
ナル、更ニ私ハ之ニ對スル今マデノ施策ガ  
餘リニモ行届カナイト思フノデアリマシテ、  
即チ徵用スル、サウシテ戰力増強ノ爲ニ大  
イニ使役スルガ、病氣ニナツタナラバ、其  
ノ治療ハ其ノ者ノ負擔ニ於テセシメルト云  
フコトハ、非常ニ思想問題ニモ關係ガアル  
ノデアリマス、戰時下戰力増強ノ急務ノ今  
日、政府モ始終仰セニナツテ居リマスヤウ  
ニ效率ヲ高メル、或ハ創意經驗ヲ凝シテ能  
率ヲ向上サスコトハ刻下焦眉ノ急務デアリ  
マスガ、併シソレハ只今ナサツテ居ルヤウ  
ナ罹病者救濟方法ヲ以テハ無理デアリマ

ス、申スマデモナク産業戦士ハ決シテ機械ノ一部デアリマセヌ、労働ハ商品デアイノデアリマス、病氣デアイ時ハ使フ、病氣ニナツタラ歸ス、サウシテ新タナル徵用、新タナル労働力ヲ以テ代ヘルト云フコトハ、是ハ産業戦士ヲ機械ノ一部視シ、或ハ其ノ労働ヲ商品ト看做シテ居ルヤニ考ヘルノデアリマス、斯様ナ扱ヒヲ以テシテハ決シテ其ノ職ニ殉ズルト云フヤウナ氣持ニナレヌト云フコトモ、是ハ人情ノ機微デアイカト思フノデアリマス、隨ヒマシテ使フ時ハ大イニ使フケレドモ、病氣ニナツタラ其ノ後ヲ見テヤルト云フコトハ極メテ大事デアリマス、其ノ本人ノ感激、而シテ再起ヲ期スル氣魄モ生レテ來マセウシ、或ハ又其ノ關係者モ、洵ニ其ノ手厚イ所ノ處置ニ對シマシテハ感謝モ致シマセウ、更ニ此ノコトガ他ノ同僚ノ産業戦士ニドレ程カ思想的ニ好イ影響ヲ與ヘルカト云フコトハ、是ハ測リ知ルベカラザルモノガアルノデアリマス、

是ガ能率ヲ高メルノデス、是ガ創意、經驗工夫ヲ凝シテ戦力ノ増強ニ邁進セシメル所ノ最モ大事ナ精神的ノ要素デアリマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ私ハ徵用工ガ病氣ニナツタ時ハ固ヨリ、其ノ他一切ノ産業戦士ガ病氣ニナル、不幸ニシテ結核ニ罹ル、サウシテ其ノ治療ニハ長年月ヲ要シ、或ハ莫大ナ經費ヲ要スルト云フモノニ付キマシテハ尙更デアリマセガ、サウ云フ際ニハ國家ガ適當ノ措置ヲ講ズル、サウシテ之ヲ治シテヤルト云フコトガ最モ急務デアラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ昨日同僚委員ヨリ、又特ニ委員長ヨリ御質問ガアツタノデアリマセガ、之ニ對シマシテハ私モ御尋ネシヨウト思ツテ居リマシタ點デ

アリマスノデ、今御尋ネ致シ、而シテ大臣ヨリ率直ニ斯様ナモノニ對シテ國家ハドウスルカト云フコトノ方途ヲ具體的ニ御示シテ願ヒタイノデアリマス

○小泉國務大臣 産業戦士、殊ニ徵用工ノ結核ト云フ問題ハ深刻ナ問題デアルト考ヘマス、嘗ニ結核對策ト云フコトカラ見マシテモ、今日諸方面ノ結核ハ寧ロ段々減リハシナイカト思フヤウナ兆候サヘ見エツツアルノデアリマスガ、産業界ニ於ケル戦士達ノ結核ガ非常ナ勢ヒヲ以テ増シツツアルト云フコトニ思ヒヲ致シマスル時ニ、殊ニ結核上ノ對策カラ見マシテモ大キナ問題デアリマスガ、只今御指摘ガアリマシタヤウニ、是ガ生産上ニ非常ニ大キナ影響ガアリ、又他人ニ及ボス影響、又郷黨ニ及ボス色々ノ惡影響、之ニ對スル社會上ノ損失ト云フコトヲ考ヘマシタ時ニ、國家ノ大問題デアルト考ヘマス、而モ産業戦士ノ結核ト云フ問題ハ、唯自分ガ不養生ヲシ、或ハ不都合ノ結果病氣ニナツタト云フモノデハナクシテ、今日國民病トシテ、而モソレガ生産事業場ニ於テハ洵ニ罹リ易イ環境デアルト云フコトヲ見マシタ場合ニ於テ、結核ト云フモノハ公病デアルトサヘ考ヘラレナケレバナラナイ時期ナリト私ハ確信致シマス、隨ヒマシテ徵用工ニ關シマシテハ、國家ガ其ノ國家目的ノ爲ニ産業戦士トシテ徵用シタ以上、此ノ人達ニハ全ク國家ノ手ヲ以テ善處スルト云フコトハ當然デアルト考ヘマス、今日

ノ施設ニ於キマシテハ、直チニ日本醫療團ノ結核病床ノ重點ノ準備、又只今申シマシタ結核ニ罹リ易イ、或ハ極ク少シ疑ガアルガ人ニハウツラスト云フヤウナ人ノ措置トカ云フヤウナ、此ノ二點ニ手ヲ着ケマシ

テ、大キナ濫カイ施設ヲ速カニ完成シナケレバナラヌ、斯ウ思ヒマス、尙ホ産業戦士ニ於テモ又大ナル違ヒガアルノデアリナイノデ、重點的ニハ先ヅ以テ徵用工ノ方ニ先ニ參リマスルガ、次イデ産業戦士ニモ及ボサナケレバ此ノ大キイ問題ヲ解決スルコトハ出來ナイ、斯ウ考ヘテ居リマスルノデ、此ノ點ニ關シマシテハ、私速カニ適當ナル措置ヲ講ジタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○藤本委員 徵用工ニ産業戦士ノ結核對策ニ付キマシテ御答辯ヲ拜承致シタノデアリマスガ、其ノ對策ヲ速カニ講ズルト云フコトハ洵ニ適切ナ措置デアリマス、其ノ適切ナル措置ヲ講ズルト云フコトハ、結局治療シテヤルト云フコトニ盡キルト思ヒマスガ、ソレニハ設備或ハ經費ガ要リマス、厚生省ノ豫算ヲ拜見致シマス、此ノ點ニ付キマシテ御計畫ハアルコトハ固ヨリデアリマスルケレドモ、十分デアリヤウニ存ジマス、産業戦士ノ治療ニ對スル醫療設備、或ハ經費ト云フモノハ相當莫大ナルモノヲ要スルデアラウト思ヒマスガ、今ハ私共ハ戦ヒニ勝ツ爲ニハ金ノ問題ヂヤナイト思フノデアリマス、物デアアル、更ニモツト根本的ノ問題ハ人デアリマス、人ノ體力ヲ向上サス、人ノ精神ヲ昂揚サス、日本精神ヲ昂揚サスト云フコトニアルト致シマスルナラバ、此ノ爲ニ幾ラ金ヲ使ツテモ宜イト思フノデアリマス、隨ヒマシテ色々ノ御苦心モアリマセウ、大藏省ノ立場モアリマセウガ、今仰セニナリマシタヤウナ國家的ニ重要ナ政策ニ對シマシテハ十二分ノ御計畫ヲ以テ出來ルダケ多クノ國家經費、國家ヲ以テ當ラレルト云フコトガ極メテ大事デアリマス、是ガナケレバ折角ノ御計畫モ

機上ノ「ペーパー・プラン」ニシカ過ギマセヌ、隨ヒマシテ望ムラクハ其ノ御計畫ニ對シマシテ、國家補償、或ハ國家經費ヲ惜マズ獲得シ、之ヲ以テ完璧ヲ期サレト云フコトニ一段ノ御精進ヲ煩ハシタイノデアリマス、御決意ノ程ヲ承ハレバ洵ニ結構デアリマス

○小泉國務大臣 只今申シマシタ所存デゴザイマスノデ、日本醫療團ニ、速カニ先ヅ重點的ニ徵用工ノ居リマス管理工場ニ對シ、結核患者ノ全面的ノ收容ヲ致サユニ指導致シマス、之ニ要スル費用等ハ、勿論醫療團ノ經濟ニ於テ賄ヒ切レルモノデハゴザイマセヌノデ、此ノ點ニ對シテハ其ノ治療ニ依ル赤字ハ國家ガ之ヲ補償スルト云フ積リデ政府ハ肚ヲ決メテ居リマス

(勝又委員長代理退席、委員長着席)

○藤本委員 最後ニ無醫村ノ問題ニ付テ御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、先程一寸觸レタノデアリマスガ、今相當ニ無醫村ト云フカ、無醫地域ト云フモノガゴザイマス、其ノ理由ハ、色々アリマセウケレドモ、結局經濟的不採算ニアルト思フノデアリマス、今度ノ藥事法ノ御制定ニ當ツテモ、藥局ノ開設ヲ許可制度ニシ、設備並ニ分布ニ付テ善處スルト云フ御考ヘデアリマスガ、ソレハ都市ニ集中スルノヲ阻止スルダケノコトハ出來マセガ、都市ニ開設シヨウト云フモノハ、田舎へ行ツテ開設シヨウトハ致シマセヌ、デアルカラ決シテ適當ナル分布トハナリマセヌ、統計ニ依ルト、全國六大都市所集中シテ居ルノデアリマス、昨日同僚議員ノ御質問ニモアリマシタヤウニ、洵ニ地方ニ於テ藥局ノナイ村、或ハ地域ガ多イソレニモ關聯シマスガ、モツト根本的ニ採上ゲナ

ケレバナラヌノハ、ヤハリ無醫村ヲ解消スルト云フコトデアラウト思ヒマス、是ガ適切ナル施策ニ依シテ解消致シマスルナラバ、此ノ醫者ヲシテ或ハ藥事衛生ヲ行ハシメル、或ハ産婆アタリノ指導モ出來ルノデハナイカト思フノデアリマス、デアリマスルカラ、藥局ニ付キマシテ國家ガ全國津々浦々ニマデ開設セシメルト云フ方途ヲ講ズルコトモ必要デアリマスガ、ソレガ若シ出來ナイトスルナラバ、セメテ無醫村ヲ解消セシメルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、ソレガ爲ニハヤハリ經濟的不採算ヲ國家ガ補償スルト云フマデニ出來ナクテハ、此ノ解消ハ期シ得ラレナイト思ヒマス、政府ノ御考ヘヲ承リタイ

○小泉國務大臣 無醫村解消問題ニ付テノ御尋ネデゴザイマスガ、日本醫療團ヲシテ此ノ方面ノ解決ニ乗出サセタイト實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、無醫村ト申シマスノハ、隣村ノ存外近イ所ニオ醫者サンガアルノデ、オ醫者サンハ要ラナイト云フヤウナ所モゴザイマスガ、又サウ云フ所ニ行ツテモ經濟的ニ連モ合ハスト云フヤウナコト、又醫學者ト云フ立場カラ考ヘラレテ、サウ云フ所ニ行ツテモ自分ノ醫學ヲ進メルコトガ出來ナイト云フ、醫學的ノ興味ト申シマスト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ所カラ行ツテ割切レナイト云フコトデ、自然ニソコニ無醫村ガ出來テ來ルト云フヤウナ色々ナ面ガアルノデゴザイマスガ、斯ウ云フコトヲ勘案致シマシテ、日本醫療團ニ於テ、ソコニ出張ノ診療所ト云フヤウナモノヲ拵ヘテ行カケレバナリマセヌガ、醫療團デハ中央病院ナリ、或ハ地方病院ナリ、其ノ下ノ支病院ナリト云フ風ニナリマ

スノデ、其ノ間ノ醫師ノ配當、配置ヲ旨ク按排致シマシテ、學校ヲ卒業シ立テノ若イオ醫者サンハ、中央病院トカ、或ハ相當ノ病院ニヤツテ、或ル力ヲ與ヘテヤル、其ノ教育ヲシタ所デ出張所ニ其ノ人ヲヤリ、ソレガ先生ニナツテ來ル、又其ノ人ヲ或ル場合ニハ上ニ連レテ來ルト云フ風ニ、人事ノ交流ヲ致シマシテ、何處マデモ醫師ガ日進月歩ノ醫學ニ後レナイヤウニシテ、十分ニ醫療ノ内容ヲ向上シツツ醫療出來ルヤウニシテ行キタイ、ソノ爲ノ色々ノ經費ハ、日本醫療團ガ負擔スルト云フ風ニシテ指導シテ行ク、又既ニ開業ヲシテ居ラレル方等モアリマスノデ、色々ナ交通機關トカ、サウ云フコトノ爲ニ其處マデ行カレナイ、隨テ隣リニ無醫村ガアルト云フヤウナ所ノオ醫者サンニ對シテハ、何々醫院トカ、何々診療所トカ云フ札ノ一方ニ、日本醫療團何々出張所ト云フヤウニ致シマシテ、總テノ經費ヲ日本醫療團ヲシテ負擔セシメ、其ノ個人ノ經濟的負擔ヲ輕減シテ行ク、斯ウ云フ風ニシテ無醫村ヲ解消スルヤウニ持ツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○藤本委員 私人御尋ネハ是デ終リマス  
○清水委員長 正木君  
○正本委員 私人大臣ニ二、三ノ點ニ付テ御所見ヲ承リタイト思ヒマス、先ツ第一點ハ、藤本委員カラモ詳細ナル御質問ガアリマシタガ、結核ニ對スル御所見デアリマス、之ニ付テハ大臣カラ非常ニ熱意アル御意見ノ發表ガアリマシタノデ、心カラ敬意ヲ表スルモノデアリマスガ、私ハ變ツタ角度カラ具體的ナ事柄ニ付テ御伺ヒシタイト思フノデアリマス、是ハ大臣モ觸レラレタノデアリマスガ、病氣ニ罹ツタ者ヲドウスルカ

ト云フコトヨリ、病氣ニ罹ラナイコトニ力ヲ注ガナケレバイケナイト云フコトデアリマス、私ハ専門學的ナコトハ分リマセヌガ、治療醫學ヨリ豫防醫學ト云フコトヲ能ク言ハレテ居リマス、ソコデ私ガ産報ノ指導者トシテ永年關係シテ居リマシタ具體的ナ體験論カラ申上ゲルト、徵用工及ビ一般産業界ニ從事スル青年工ガナゼ多ク結核ニ罹ルデアラウカ、此ノ結論ニ付テ私深ク考ヘサセラレル點ハ、先ツ第一ニ、寄宿舎ニ家庭的ナ設備ガ缺ケテ居ルト云フ一點ニ歸スルノデアリマス、第二ニハ、サウシタ缺陷カラ來ル所ノ潤ヒノナイ生活——恐ラク大臣初メ次官ニ於カレテモ、現在大都市ヲ中心トスル産業街ノ斯ウシタ青少年工ノ寄宿舎ニ於ケル日常ノ生活状態ガ如何ナル條件ノ下ニ置カレテ居ルカト云フコトハ、既ニ御調査下サツタコトト存ジマスガ、四疊半ニ三人、六疊間ニ甚ダシキハ八人、而モ何等潤ヒノナイ生活デアル、隨テソレカラ來ル所ノ精神のナ苦痛及ビ勞働ノ過重、斯ウシタコトガ國家トシテ最モ大切ナル青年ヲシテ此ノ恐れベキ國民病、結核ニ罹ラセル大キナ原因デアルト思フノデアリマス、隨テ斯ウシタモノニ對スル根本的ナ對策施策ガナクシテ、罹ツタ者ヲドウスルカト云フコトハ私考ヘナケレバナラナイ事柄ダト思フノデアリマス、隨テ私ノ此ノ際大臣ニ率直ニ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマスル事柄ハ、徵用工及ビ一般産業界ニ挺身致シテ居リマスル斯ウシタ青年工ヲ收容致シテ居リマスル寄宿舎制度ニ對シテ根本的ニ國家ガ熱意アル積極的ナ助成ヲ以テ改善スル御意思ハナイカドウカト云フコト

第一ニハ、或ハ資材、其ノ他ノ不足ノ點

ニ依ツテ非常ニ困難ダト云フ御意見ガアルカトモ思フノデアリマスルガ、現在大都會ニ於テハ不要ト見ラレベキ非常ニ贅澤ナ、言換ヘルナラバ一洗料理店、或ハ廣大ナ邸宅、或ハ大都市ヲ中心トスル所ノ不要ナ別荘等ガ相當アルヤニ私ハ聞イテ居ルノデアリマス、今日國家ノ此ノ重大ナ時局ニ於テ、政府ハ強イ力ヲ以テ斯ウシタモノヲ——或ハ一時ノ便法デアツタトシテモ、私ハ青少年工ヲ收容スル寄宿舎ニ改善スルコトモ出來得ルノデハナイカス様ニ考ヘラレマスルガ、此ノ點ニ對スル御所見ハドウカ

第二點ハ現在ハ結核ニ罹ツタ者ガ農漁村ニ歸リマス、歸ツテ非常ニ傳播力ヲ以テ僅カニ、三年ニシテ一家數人ガ全滅シテ居ルト云フ事實ハ全國到ル處ニアルノデアリマス、今度ハ是等ニ對スル豫防並ニ治療ノ問題デアリマスルガ、之ヲドウスルカ、政府ニ於テハ醫療團等ヲシテ積極的ニ對策ヲ御立テニナル——現ニ行ヒツツアルト云フ御話デアリマスルガ、中々以テ待遠イコトデアリマス、ソコデ私ハ亦永年ノ持論デアリマスルガ、ナゼ政府ハモット積極的ニ熱意ヲ以テ全國的ニ保健婦ノ大量の養成ヲ行ハナイノカ、而シテ之ヲ部落單位毎ニ置クコトガ出來ナイノデアラナラバ、セメテ村ニ二人ナリ、三人ナリノ保健婦ヲ置ク、而シテサウシタ病氣ニ罹ツテ都市カラ歸ツテ來タ者達ガ、實際ニ或ル一定ノ箇所ニ收容サレテ治療ヲ受ケルト云フコトハ、現實ニハ困難ナ状態ニ置カレテ居ル譯デアリマス、醫療團ハ斯ウダ、計畫ハ斯ウダト云ツテモ實際ハ農漁村ニ歸ツタモノハ或ル一定ノ療養所ニ收容ヲサレテ治療ヲ受ケルト云フコトハ出來ナイノデアラカラ、此ノ保健婦ヲ大量の養成

成致シマシテ、各村ニ二人ナリ、三人ナリ置  
 イテ、是ガ醫者ト緊密ナル連絡ヲ取ツテ、  
 サウシテ病氣ニ罹ツタ者ト家族トノ關係ノ  
 事柄ニ付テ常ニ親切ニ、手取り足取り指導  
 ヲ致シマスルナラバ、本人ハ罹ツタノデア  
 リマスルガ、他ノ者ニ傳播ヲスルト云フコ  
 トハ完全ニ防ギ得ルノデアリマス、是モ私  
 ノ一ツノ體驗デアリマスガ、北海道ノ札幌  
 市ノ御存ジノヤウニ、日本一ノ結核都市デ  
 アル、此處デハ巡回看護婦ノ一ツノ機關ヲ  
 作りマシテ、醫者ノ診斷ノ結果、結核ニ罹  
 ツテ居ルト、直チニ其ノ巡回看護婦ガ其ノ  
 家庭ニ參リマシテ、病人ニ對スル取扱、家  
 族トノ關係等、常ニ全部ヲ指導シテ居ル  
 デアリマス、サウシテ二箇月ナリ、三箇月  
 ナリ經チマシテ、療養所ガ空キマス、其  
 ノ病人ヲ收容スル、之ヲ實施致シマシテカ  
 ラ、家族ニ傳播スル數ト云フモノガ統計的  
 ニグシク減ツテ來テ居ルノデアリマス、  
 スウシテ體驗カラモ、私積極ニ申上ゲル  
 ノデアリマスガ、少クトモ此ノ保健婦ノ大  
 量養成ヲスベキデハナイカ、之ニ對スル豫  
 算等ヲ見マス、殆ド「ゼロ」ニ近イ、一方  
 ニ於テハ洵ニ結構ナコトデアリマスルガ、  
 體力検査ヲシテ結果、此ノ筋力弱體ノ者ニ對  
 シテハ二千萬圓ノ豫算デ、而モ一千三百箇所  
 ノ收容所ヲ設ケテ、二箇月間收容スル、ソ  
 コマデ思切ツタ施策ヲ施スナラバ、私ハ三  
 千万圓ノ金ヲ掛ケテ、此ノ保健婦ノ大量養成  
 ヲスベキデアル、斯ウ思フノデアリマスル  
 ガ、之ニ對スル御所見ハ如何デアリマスカ、  
 先ツ此ノ二點ニ付テ御伺ヒ致シマス

度ノ改善如何ト云フ御尋ネデアリマス、今  
 日仰セノヤウナ點ノ多アルコトハ、是ハ  
 事實デアリマス、之ニ對シマシテ今日生産  
 増強ノ非常ニ急激ナル要請ニ對シマシテ、微用  
 ヲスルト云フヤウナコトカラ、寄宿舎――  
 其ノ人達ノ居住設備ト云フモノニ非常ニ缺  
 陥ガ多イト云フ點ハ、是ハ事實デゴザイマ  
 ス、隨テ政府ト致シマシテハ、之ヲ直チニ――  
 只今御指摘ノアリマシタヤウナ四疊ニ三人  
 ト云フヤウナコト、モツトヒドイ所ニナリ  
 マスト、モツト窮屈ニ入ツテ居ル所モアリ  
 マスガ、ソレヲ緩和スルト云フコトニ致シ  
 マスルニハ、資材或ハ建設ノ能力、其ノ他ニ  
 於テモ十分急ニハ間ニ合ハヌト云フ點モア  
 ルノデゴザイマスケレドモ、之ヲ出來ルダ  
 ケ緩和スベク、政府ト致シマシテハ、今回  
 此ノ微用セラレタ人、或ハ産業戰士達ノ住  
 宅、居住設備ニ對スル一ツノ規格ヲ定メマ  
 シテ、要スルニ組立式トデモ申シマスカ、  
 速カニ家ガ建ツヤウニ一ツノ規格ヲ作りマ  
 シテ、此ノ規格ニ應ズル資材ト云フモノハ、  
 之ヲ物動デ優先確保致シテ、次第デアリマ  
 ス、之ニ依リマシテ居住ノ設備ハ致シテ參  
 リマスガ、ソレ等ガ出來上ツテモ十分ナモ  
 ノデゴザイマセヌ、否、政府ト致シマシテ  
 ハ決戰體制ノ今日已ムヲ得ナイカラ、丁度  
 第一線ニ於ケル兵ガ草ニ伏シ、進軍ヲシテ  
 行クヤウナモノデ、雨露ヲ凌グニ堪ヘレバ  
 今年ハ宜イ、將來ハ是ハ根本的ニ直サナケ  
 レバナナイイガ、將來ハ別トシテ、今日ハ  
 雨露ヲ凌ギサハスレバ、ソレデ満足シテ働  
 カナケレバナラヌト云フヤウナコトニマデ  
 立至ツテ居ルノデアリマス、然ラバソレカ  
 ト云ツテ、結核ニナルモノヲ放ツテ置クト  
 云フコトハ絶對ニ許サレナイ今日デアリマ

ス、即チ私共ト致シマシテハ、先程モ御言  
 葉ノアリマシタヤウニサウ云フ所ニ入ツテ  
 潤ヒノナイ生活ヲスルト云フコトハ一番排除  
 スベキコトデ、斯ウ云フコトハ其ノ經營責  
 任者ノ氣持一ツデ、生活ニ潤ヒアラシムル  
 コトガ出來ル、<sup>「ガダルカナル」</sup>デ米一粒シカ  
 ナクテモ、指揮官ノ潤ヒアレバコソ、ソコニ  
 皇國ノ大天地ヲ發見シテ、何等ノ苦痛モ感  
 ジナイト云フヤウナコトガ出來ルノデアリ  
 マスカラ、私共ハ此ノ重要事業場勞務管理  
 令ノ適用ヲモツト強化シテ、即チ設備、從  
 業員ノ生活全般ニ對シマシテ、其ノ經營責  
 任者ニモツト自覺シテ、ハツキリシタ  
 責任ヲ執ツテ貰フ、ソレノミナラズ、モツト  
 温情ヲ含シテ、而モ經營責任者ガ、勤勞者  
 ト自分ト一體トナツタ、其ノ體制下ニ於テ、  
 オ五ヒノ爲ダト云フノデ、潤ヒノアル生活ヲ  
 シテ貰ヒタイト云フヤウニ、強力ナル指導  
 ヲナシ、其ノ體制ヲ完備スベク今準備ヲ致  
 シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、之ニ依  
 リマシテ兎ニ角應急ノ措置ヲ講ジテ行キタ  
 イ、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス  
 第二ノ既設建築物ノ利用、是ハ仰セノ通  
 リデアリマス、サウ云フ遊休ノ住宅等ノ、  
 既設ノ建築物ノ中デ産業方面ニ利用ノ出來  
 ルモノハ、之ヲ利用スルヤウニシテ行キタ  
 イ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、既ニ各地ニ  
 於キマシテ其ノ利用ニ依ツテ、只今御指摘  
 ノヤウナ所デ非常ニ潤ヒノアル生活ガ出來  
 ツツアルヤウナ所モ、段々アルヤウデゴザ  
 イマスノデ、今後モ既設建築物ノ利用ト云  
 フコトニハ善處シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ  
 居ル次第デアリマス

レガ傳播ノ因トナル、是ハ洵ニ困ルコトデアリ  
 マスカラ、産業戰士ガ結核ニ罹リマシテモ、直  
 グソレガ郷里ニ歸ルト云フコトノナイヤウニ、  
 治療シテ治ルマデ、或ハ感染ノ虞ガナイヤウ  
 ニナルマデハ歸サナイト云フ方針ヲ以テ、  
 醫療施設ノ充實ニ醫療團ノ働キヲ進メタイ  
 ト思ヒマスガ、併シ又色々家庭ノ事情ガア  
 リマシテ、ドウシテモ家ニ歸ラナケレバナ  
 ラス者モアリマス、サウ云フヤウナ點ヲ考  
 ヘマシテ、保健婦ノ設置ト云フコトハ、洵  
 ニ私共御同感ニ存ズル次第デアリマスノデ、  
 今回保健所ヲ全國ニ普及スル、從來年々僅  
 カヅツノ保健所設置計畫ヲ以テ進メテ參リ  
 マシタガ、ソナコトデハ間ニ合ヒマセヌ  
 ノデ、茲ニ計畫致シテ居リマシタ五百數十  
 箇所ノ保健所ヲ一舉ニ完備スル、其ノ他既  
 設ノ保健、或ハ療養指導ニ關スル色々ナ設  
 備ガゴザイマスノヲ、之ヲ全部統合致シマ  
 シテ、數千箇所ノ保健所及ビ其ノ支所ヲ完  
 成致シマシテ、之ニ依リマシテ全國ニ保健  
 所網ヲ張廻ラス、其處ニハ、只今御指摘ノ  
 アリマシタヤウニ、適當ナ保健婦ヲ設置シ、  
 又必要ナル所ニハ醫師或ハ其ノ關係者ヲ配  
 置致シマシテ、サウシテ只今御話ノ御趣旨  
 ノヤウナ風ニ進メテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居  
 リマシテ、今回之ニ對スル豫算的措置モ講  
 ジテアルヤウナ次第デアリマシテ、此ノ方  
 面ニハ保健所網ノ普及ト云フコトヲ致シテ  
 行キタイ、勿論其ノ中ニハ相當ノ保健婦ヲ  
 入レテ行カナケレバナラヌノデ、之ニ要ス  
 ル保健婦ノ養成ト云フヤウナコトニ對シマ  
 シテモ、十分考慮致シタイ、斯ウ考ヘテ居  
 ル次第デゴザイマス

○正木委員 次ニ御伺ヒシタイコトハ、國  
 民體力ノ向上竝ニ人口ノ増殖ト關聯致シマ

○小泉國務大臣 徵用工、其ノ他青年産業  
 戰士ノ結核ニ罹患シマスルモノトシマシテ

ノ、一ツノ大キナ因子デアリマス寄宿舎制

ノ、一ツノ大キナ因子デアリマス寄宿舎制

ノ、一ツノ大キナ因子デアリマス寄宿舎制



シテ、私ハ此ノ機會ニ民族精神ノ昂揚ト、大和民族人口一億達成ノ具體的ナ方針ヲ御伺ヒシテ置キタイ、斯様ニ存ズルノデアリマス、昭和十六年ノ一月、閣議ノ御決定ニ依リマシテ、三十六年度マデニ内地人口一億ニ達スルコトヲ方針ガ政府カラ發表セラレタノデアリマスガ、私ノ存ジテ居リマスル範圍ニ於キマシテハ、此ノ三十六年度マデニ内地人口一億ニ達スル爲ニハ、相當困難ナ事情ノ下ニ置カレテ居ルノデアリナイカ、一億ノ人口ニ達スル爲ニハ、更ニ政府ハ積極的ナ施策ヲ必要トスルノデアリナイカ、隨テ其ノ具體的ナ内容ト致シマシテハ、例ヘバ結婚對策然リデアリマス、乳幼児、妊産婦等ニ對スル對策等モ然リデアリマスガ、其ノ點ハ大臣カラノ御説明ニ依ツテ諒承致シタノデアリマス、唯此ノ人口一億達成、隨テ大東亞共榮圈內及ビ世界民族間ニ於ケル所ノ大和民族ノ優秀性ヲ最高度ニ發揮スル爲ニハ、現在ノ我ガ國ノ結婚問題ト云フコトガ、相當重大ナコトトデアリナイカ、屢、此ノ結婚ト云フコトニ付テハ、政府ニ於テモ強ク取上ラレテ居ルヤウデアアルガ、倍テソレヲ一步進メテ具體的ノ問題ヲ取扱ヒマス、非常ニ消極的ナ形ニ變ツテ來ルノデアリマス、大臣ハ現在ノ結婚ノ障礙トナル所ノ一切ノ具體的ナ條件ニ對シテ、熱意ヲ以テ解決スル所ノ御方針ガアルカドウカ、先ヅ此ノ點カラ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 大東亞建設ノ爲ニ、此ノ優秀ナル大和民族ヲ一億、否モツト、而モ至短ノ期間内ニ増強致シタイト云フコトハ、全ク御話ノ通りニ、私共モ常々サウ

考ヘテ居ル次第デアリマス、サウシテ其ノ昂揚ノ爲ニハ、積極的ニ色々施策モ考ヘナケレバナリマセヌ、先般モ他ノ委員會デ一寸申上ゲタノデアリマスガ、人口ガ支那事變勃發當時ノヤウナ所マデニ、ズツト來マシタ趨勢デハ、洵ニ御説ノヤウニ三十六年一億ト云フヤウナコトハ、非常ニ難カシイト云フヤウナコトデアリマシタ、是ニ於キマシテ先ヅ以テ大切ナノハ、妊孕力ノアリマス青年男女ノ結婚ト云フコト、或ハ結婚シタ人ガ別レテ居ナイデ、一緒ニ居ルト云フヤウナコトガ最モ必要デアリマスルノデ、陸軍ニ於キマシテハ特別ノ休暇規則ヲサヘ拵ヘマシテ、作戰ノ中カラ休暇規則デ以テ内地ニ還スト云フヤウナ制度ヲ確立致シマシタノモ、此ノ積極的施策ノ一ツデゴザイマス、其ノ他家ニ基ヲ置キマシタ民族觀、世界觀ト云フモノヲ以テ、國民全部ガ人口増強ニ協力シテ行クト云ラ色々施策ヲ講ズベキコト勿論デゴザイマスガ、兎ニ角御話ノヤウニ結婚ヲ致シマスノニ、色々障礙トナルベキ事項ガ多クゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ、先般大東亞建設審議會ニ於キマシテモ、慎重ニ檢討セラレタノデゴザイマシテ、結婚ノ障礙トナルベキモノヲ排除スル點ニ付キマシテモ、答申案ヲ政府ニ提出セラレタ次第デゴザイマスガ、政府ト致シマシテハ、大東亞建設ノ爲ノ大和民族増強ノ觀點カラ致シマシテ、是等ノ諸施策ヲ具體的ニ現ハシテ行カナケレバナリナイト存ジテ居ル次第デアリマス、例ヘバ今日學生ガ二十數歳ニナラナケレバ專門學校以上ノ生徒ガ卒業出來ナイ、人口増強ノ方カラ申シマスルト、其ノ學生年齢期ニ於テノ結婚ガ洵ニ欲シイノデアリマスルガ、

之ニ對シテ學生デアリナガラ結婚スルコトノ出來ナイト云フコトガ大キナ障礙ノ一ツトナツテ居リマスルノデ、速力ニ學校ヲ卒業シテ、而モ大東亞十億ノ民衆ノ指導力ヲ得ル立派ナ人種ヲ養成スベク、學制ノ改革ト云フコトヲ企圖シナケレバナラヌト云フヤウナコトガ、一ツノ大キナ答申案ノ中ノ内容トナツテ居リマシタ、又經濟的ノ障礙、凡テ各方面ノ障礙排除ニ對シマシテノ諸施策ガ列舉セラレテ居ル次第デアリマシテ、ソレ等ニ應ジマシテ、只今申上ゲマスルヤウニ、此ノ戰時下ニ於キマシテ速力ニ逐次サウ云フ點ニ施策ヲシテ行カナケレバナラヌト云フヤウナ譯デ、大藏方面ノ爲スベキコト、或ハ學校、凡テノ點ニ於キマシテ逐次狀況ニ應ジテ施策ヲ實施シツツアル次第デアリマシテ、政府ト致シマシテハ結婚障礙ヲ排除シテ、出來ルダケ人口増強ニ資シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○正木委員 重ねテ御伺ヒスルヤウデアリマスルガ、私ノ存ジテ居リマスル範圍内ニ於テハ、三十六年度マデニ内地ノ人口一億達成ノ爲ニハ、現在ノ條件ノ下ニ於テスラ一箇年間百萬組ノ結婚ヲ政府ガ陣頭ニ立ツテ獎勵シナケレバイケナイト云フコトノヤウニ存ジテ居ルノデアリマス、昭和十五年度ニ於テハ日本ハ六十六萬組ト云フコトモ存ジテ居ルノデアリマスルガ、私ノ存ジテ居ルヤウニ、假リニ百萬組トスレバ、大體ニ於テハ六十萬組シカ出來ナイノデ、更ニ四十萬組ヲ増加サセナケレバナラナイ條件ノ下ニ置カレテ居ルトスルノデアアルナラバ、ヨリ積極ニシテ熱意ヲ以テ全國ノ結婚適齡ニ入ツタ青年男女ニ呼掛ケルト共ニ、此ノ結婚ノ障礙トナルベキ一切ノモノヲ排

除スル所ノ積極的ナ大臣トシテノ私ハ方針ヲ國民ノ前ニ意思表示スベキデアリナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御所見ハドウデアリマセウカ

○小泉國務大臣 仰セノ通りデゴザイマシテ、民族の觀念カラ、人口ノ増強ノ必要ナルコトヲ國民ガ能ク認識シテ、殊ニ青年男女ノ中ニ是ガ能ク認識セラレマシテ、サウシテ其ノ線ニ沿ウテ生活シテ行クト云フコトハ望マシイコトデアリマス、厚生省ト致シマシテモ、機ニ觸レ折ニ觸レテ、此ノ點ハ表明致シテ居リマスルガ、此ノ戰爭ノアル今日ニ於テ、戰場ニ於ケル赫々タル戰果モ、又世界ノ歴史ニ見マシテモ、戰爭ト云フコトニナレバ人口ハ減ルモノダ、出生ハ少クナル、子供ノ死亡ハ殖エルノダト云フコトニ殆ド原則的ニ言ハレテ居リマシタモノガ、今回ノ戰爭ニ於テ全然之ヲ覆ヘシテ來タト云フコトハ、是ハ世界ノ脅威的ナ問題ダト思ヒマス、是モ亦日本ノ家族制度、家ヲ基トスル所ノ民族觀、國家觀ト云フモノガ大キナ根強イ力トナツテ居ル次第デアリマスノデ、外國ニアリマスヤウナ結婚獎勵ノ行キ方デハ日本的デナイト考ヘマス、日本精神ニ合ハナイ、國民精神ニ合ハナイモノダト思ヒマスノデ、今回結婚ノ相談、媒酌相談、懇談ト云フヤウナコトヲ致シマシテ、ヤハリ當人同志ガ宜クテモ、家族トシテ宜イト云フ結婚ノ媒介ヲ懇談的ニ進メタイ、サウシテ色々ノ迷信トカ、或ハ過去ノ經緯デアルトカ云フヤウナコトヲ結婚ガ出來ナイデ居ルヤウナ所ニハ、其ノ懇談會或ハ獎勵ノ一ツノ動キトシテ、サウ云フ風ニ進メテ行ツテ、家ヲ基トスル結婚ヲ出來ルダケ進メテ行キタイト考ヘマシテ、今回モ懇談會等ヲ施設ノ

第六類第十五號 藥事法案外二件委員會議錄 第五回 昭和十八年二月二十日 八一

助成費等モ豫算の措置ヲ講ジテ次第デアリ  
マスガ、仰セノヤウニ人口増強ノ必要ナル  
所以ヲ國民ガ意識シテ、之ニ依ツテ大東亞  
ノ建設ヲ全ウシテ行クト云フコトノ精神ヲ  
昂揚スルコトニ對シマシテハ、今後トモ從  
前以上萬全ヲ期シタイト思ヒマス

○正木委員 最後ニ一ツ御尋ネシタイト思  
ヒマス、是ハ直接本法案トハ關係ガナイノ  
デアリマス、私ノ御伺ヒセントスルモノハ  
戦力増強ノ基本條件トナルベキ五大産業以  
外ニ從事致シテ居リマスル勤勞者ノ待遇向  
上、是ト關聯シテ是等ノ勤務行政ニ對スル  
方針ヲ此ノ機會ニ御聽キシタイト思フノデ  
アリマス、政府ニ於カレテハ重要産業ニ從  
事致シテ居リマスル勤勞者ニ對シマシ  
テハ、凡ユル角度カラ萬全ノ策ヲ講ジラレ  
テ居ル譯デアリマス、例ヘバ銃後ニ於ケル  
勤勞産業人トシテノ殊動甲デアリマス所ノ、  
金鶏勳章ニ等シイ勤勞章、是ガ一度發表サレ  
マス、全國ノ産業ニ從事致シテ居リマス  
勤勞人ニ與ヘタ精神のナ影響、隨テ自己ノ  
職場ヲ通ジテノ國家ヘノ御奉公ノ意識ト云  
フモノハ、血ノヤウナ熱度ヲ以テ昂揚サレ  
タノデアリマス、洵ニサウ云フ御處置ヲ執  
ツテ下サツタ大臣ニ心カラ敬意ヲ表スルノ  
デアリマスルガ、唯此ノ機會ニ大臣ニ篤ト  
考ヘテ戴カナレバナラナイ事柄ハ、五大  
重要産業ニ從事スル勤勞者以外ノ基本産業  
ニ從事スル所ノ勤勞者ヲドウ扱フカト云フ  
コトデアリマス、私ハ政府トシテハ餘程深  
ク考ヘナケレバナラヌ時デヤナイカ、假ニ  
之ヲ一ツノ鑛山ノ開發ノ例ニ取ツテ私具體  
的ニ御話ヲ申上ゲマセウ、私ハ北海道ノ  
産報ノ理事、再編成サレテ出來マシタ勞務  
報國會ノ參與ヲ致シテ居リマス、鑛山ノ一

ツノ開發ノ例ヲ採ツテ見マセウ、大臣ハ石  
炭ガ出テ東京市ノ軍需工場ニ入ルマデニハ  
何年掛ルト思ヒマスカ、其處ガ開發サレテ、  
坑道ガ掘進サレテ、現場デ石炭ヲ掘ルヤウ  
ニナツテ、初メテ坑夫ガ働クノデゴザイマ  
スヨ、其ノ前ニ坑夫ノ住ム住宅、其ノ鑛山  
ヲ開拓スル者、ソレカラ坑道ヲ掘進スル者、  
之ニ從事スル勤勞者ハ唯ダト思ヒマスカ、  
所ガ此ノ取扱ニ對シテ政府ハ本質的ニ別個  
ノ取扱ヲシテ居ル、ダカラ私ハ先程モ雜談  
的ニ言ツタケレドモ、家ノ親父怪シカラヌ、  
可愛イ息子ニ是ガ甲、是ガ乙ト云フ區別ヲ  
付ケル、ソコデ私ハ一ツノ具體的ナ北海道  
ノ事情ヲ申上ゲルノデアリマスガ、北海道  
ニ於テハ勞務報國會、前ノ産報會員デアツ  
タ土建ノ勞務者ガ二十万近ク居ルノデアリ  
マスガ、是ガ鑛山ノ開發ニ從事シテ、石炭ヲ  
出スベク坑道ヲ掘進シテ行ク坑夫デス、ヤ  
ハリ此ノ中ニ入ツテ行クノデス、之ニ對スル  
酒ノ配給ハト言フナラバ、月ニ僅カ三合カ、五  
合デアル、直接現場デ石炭ヲ掘ル者ハ三升  
デアル、一方ニ地下足袋ガ六箇月カ八箇月ニ  
一足シカ渡ツテナイ時ニ、片方ハ一箇月ニ  
一足モ二足モ渡ル、アノ零下何十度ト云フ北  
海道ニ於テ、一方ニ於テハ「ゴム」靴ノ配給ガ  
アルガ、一方ノ者ニハナイ、是ガ現實ノ姿デア  
リマス、又此ノ掘ツタ石炭ガ港ニ行ク、サウ  
シテ港ニ來テ、之ヲ船ニ積込ム勤勞者、是ハ  
同ジ五大産業デアツテモ、勞務關係デ勞務  
報國會ニ取扱ハレル、ソレニ對スル軍手、地  
下足袋、作業衣等ニ至ツテハ、六箇月ニ地下  
足袋ニ於テ一足、軍手ニ於テ四箇月ニ一足、  
作業衣ニ至ツテハ一箇年ニ一枚モ渡ラヌト  
云フヤウナ差別ガアルノデアリマス、更ニ考  
ヘテ戴カナレバナラナイ事柄ハ、山奥ニ

入ツテ木材ヲ伐リ出ス袖夫デアリマス、是  
モ勞報ニ編成サレタノデアリマスガ、是等  
ノ者ニ對スル取扱ヒ方ニ於テモ全然別個ナ  
差別的ナ取扱ヒ方ヲナサレテ居ル、此ノ勞  
働行政ノ上ニ於テ、眞劍ニ政府ガ考ヘテ戴  
カナケレバナラナイ事柄ハ此處デアリマス、  
大臣初メ、下ツテ吾々産報、勞報ニ從事ス  
ル指導者ガ、何處ノ職場ニ行ツテドウ云フ  
ヤウナ指導ヲ現在マデシテ來タカ、ドノ職  
場ニ行ツテモ、同ジ角度カラコレノ職域ヲ通  
ジテ國家ノ爲ニ捨石ニナツテ働イテ戴カナ  
ケレバナラナイ、國家ハ諸君ノ爲ニ作業用必  
需品、其ノ他生活萬般ニ付テハ十分考ヘテ  
居ル、斯ウ言ツテ奮起ヲ求メテ來タ答デア  
リマス、所ガ勤勞者カラ言ハセレバ、勤勞  
者自體ト云フモノハ非常ニ單純デアリマス、  
同ジ坑内ニ入ツテ仕事ヲヤツテ居ル者ガ、  
會社カラ直接雇ハレタ者ハ毎月酒ハ三升渡  
ル、片方ハ三合カ五合シカ渡ラス、片方ハ  
毎月二足ノ地下足袋ガ渡ル、片方ハ三月ニ  
一足シカ渡ラス、一體日本ノ政府ハ同ジ勤  
働者ヲナゼ斯様ニ差別待遇スルノカ、考ヘ  
方ガ單純デアレバアル程、其ノ與ヘル精神  
的影響ト云フモノハ非常ニ大キイ、是ハ今  
具體的ナ例ヲ取ツテ申上ゲタノデアリマス  
ガ、今度日本勞務報國會ガ出來マシテ、從  
來産報ニ關係シテ居ツタ者ガ再編成サレマ  
シテ、二百數十方ノ勞務報國會ノ會員ガ出  
來ル譯デアリマス、是等ノ總テノ者ハ、今  
日マデ斯様ナ差別的ナ待遇ヲ受ケテ來タノ  
デス、ダカラト云ツテ私ノ申上ゲルコトハ、  
鑛山ノ勤勞者ニ酒ガ月三升渡ルカラ、波止  
場ノ勤勞者ニ月三升吳レト云フノデアアリ  
マセウ、鑛山ノ勤勞者ニ月一足地下足袋ガ  
渡ルカラ、都會ノ港灣ニ從事スル勤勞者ニ

一月一足吳レト云フノデアリマセウ、是  
モ私産報デ現在指導シテ居ルノデアリマス  
ガ、北海道ノ陸上運送ニ從事致シテ居リマ  
ス所ノ小運搬ノ産報會員デアリマスガ、  
全島デ二万五千アリマシテ、北海道ガ一番  
大キイノデアリマス、私北海道道會長ヲシ  
テ居リマスガ、是ハ各驛ニ着イタ凡ユル貨  
物ヲ作業場ハ運搬シ、ソレカラ其處デ生産  
サレタ凡ユル物ヲ驛ノ構内マデ運搬シテ來  
ル、此ノ所謂陸上小運搬ニ從事スル勤勞者  
ニ對シテ、軍手モ、作業衣モ、地下足袋モ六  
箇月ニ一度位シカ渡リマセウ、是デハ實際  
吾々産報、勞報ノ先頭ニ立ツテ居ル者トシ  
テ、ドウシテ今後指導シテ行ツタラ宜イカ  
ト云フ點ニ非常ナ惱ミヲ現在續ケテ來テ居  
ル譯デアリマス、其ノ結果ヲ具體的ニ申上  
ゲタイノデアリマス、北海道ノ基礎産業ニ  
從事シマスル、社會デ謂フ工夫デアリマス  
ガ、是ガ約十數方アルノデアリマス、是ノ  
戰前ト現在ノ状態ヲ調べテ見マス、勞報  
ガ調査シタ病氣關係ハ、脚氣患者ガ約四倍  
ニ殖エテ居リマス、胃腸病ガ約九倍ニ殖エ  
テ居リマス、夜盲症ハ從來ノ三倍ニ殖エテ  
居ルノデアリマス、是等ハ一ニ懸ツテ作業  
用ノ必需品デアアル軍手、地下足袋作業衣ガ  
ナイコトニアルト云フノデアリマス、ドウ  
シテナイノダ、假ニ作業衣ノ問題ニシテモ  
サウデス、内地デハタツタ百點シカ貰ヘナ  
イ、北海道ハ働キニ行ツタ土工夫ガ、一人前  
ノ土工夫トシテ作業ニ從事スル爲ニハ少ク  
トモ三百點ガ必要ナノデアリマス、サウ云  
フ點ガ缺ケテ居ルノデアリマス、食糧ニ至ツ  
テモ其ノ通りデアリマス、現實ナ問題ヲ私  
ハ大臣ニ申上ゲル機會ヲ實ハ待ツテ居ツタ、  
隨テ是ハ獨リ北海道ノ問題ダケデハナクシ

モ月一足吳レト云フノデアリマセウ、是  
モ私産報デ現在指導シテ居ルノデアリマス  
ガ、北海道ノ陸上運送ニ從事致シテ居リマ  
ス所ノ小運搬ノ産報會員デアリマスガ、  
全島デ二万五千アリマシテ、北海道ガ一番  
大キイノデアリマス、私北海道道會長ヲシ  
テ居リマスガ、是ハ各驛ニ着イタ凡ユル貨  
物ヲ作業場ハ運搬シ、ソレカラ其處デ生産  
サレタ凡ユル物ヲ驛ノ構内マデ運搬シテ來  
ル、此ノ所謂陸上小運搬ニ從事スル勤勞者  
ニ對シテ、軍手モ、作業衣モ、地下足袋モ六  
箇月ニ一度位シカ渡リマセウ、是デハ實際  
吾々産報、勞報ノ先頭ニ立ツテ居ル者トシ  
テ、ドウシテ今後指導シテ行ツタラ宜イカ  
ト云フ點ニ非常ナ惱ミヲ現在續ケテ來テ居  
ル譯デアリマス、其ノ結果ヲ具體的ニ申上  
ゲタイノデアリマス、北海道ノ基礎産業ニ  
從事シマスル、社會デ謂フ工夫デアリマス  
ガ、是ガ約十數方アルノデアリマス、是ノ  
戰前ト現在ノ状態ヲ調べテ見マス、勞報  
ガ調査シタ病氣關係ハ、脚氣患者ガ約四倍  
ニ殖エテ居リマス、胃腸病ガ約九倍ニ殖エ  
テ居リマス、夜盲症ハ從來ノ三倍ニ殖エテ  
居ルノデアリマス、是等ハ一ニ懸ツテ作業  
用ノ必需品デアアル軍手、地下足袋作業衣ガ  
ナイコトニアルト云フノデアリマス、ドウ  
シテナイノダ、假ニ作業衣ノ問題ニシテモ  
サウデス、内地デハタツタ百點シカ貰ヘナ  
イ、北海道ハ働キニ行ツタ土工夫ガ、一人前  
ノ土工夫トシテ作業ニ從事スル爲ニハ少ク  
トモ三百點ガ必要ナノデアリマス、サウ云  
フ點ガ缺ケテ居ルノデアリマス、食糧ニ至ツ  
テモ其ノ通りデアリマス、現實ナ問題ヲ私  
ハ大臣ニ申上ゲル機會ヲ實ハ待ツテ居ツタ、  
隨テ是ハ獨リ北海道ノ問題ダケデハナクシ

モ月一足吳レト云フノデアリマセウ、是  
モ私産報デ現在指導シテ居ルノデアリマス  
ガ、北海道ノ陸上運送ニ從事致シテ居リマ  
ス所ノ小運搬ノ産報會員デアリマスガ、  
全島デ二万五千アリマシテ、北海道ガ一番  
大キイノデアリマス、私北海道道會長ヲシ  
テ居リマスガ、是ハ各驛ニ着イタ凡ユル貨  
物ヲ作業場ハ運搬シ、ソレカラ其處デ生産  
サレタ凡ユル物ヲ驛ノ構内マデ運搬シテ來  
ル、此ノ所謂陸上小運搬ニ從事スル勤勞者  
ニ對シテ、軍手モ、作業衣モ、地下足袋モ六  
箇月ニ一度位シカ渡リマセウ、是デハ實際  
吾々産報、勞報ノ先頭ニ立ツテ居ル者トシ  
テ、ドウシテ今後指導シテ行ツタラ宜イカ  
ト云フ點ニ非常ナ惱ミヲ現在續ケテ來テ居  
ル譯デアリマス、其ノ結果ヲ具體的ニ申上  
ゲタイノデアリマス、北海道ノ基礎産業ニ  
從事シマスル、社會デ謂フ工夫デアリマス  
ガ、是ガ約十數方アルノデアリマス、是ノ  
戰前ト現在ノ状態ヲ調べテ見マス、勞報  
ガ調査シタ病氣關係ハ、脚氣患者ガ約四倍  
ニ殖エテ居リマス、胃腸病ガ約九倍ニ殖エ  
テ居リマス、夜盲症ハ從來ノ三倍ニ殖エテ  
居ルノデアリマス、是等ハ一ニ懸ツテ作業  
用ノ必需品デアアル軍手、地下足袋作業衣ガ  
ナイコトニアルト云フノデアリマス、ドウ  
シテナイノダ、假ニ作業衣ノ問題ニシテモ  
サウデス、内地デハタツタ百點シカ貰ヘナ  
イ、北海道ハ働キニ行ツタ土工夫ガ、一人前  
ノ土工夫トシテ作業ニ從事スル爲ニハ少ク  
トモ三百點ガ必要ナノデアリマス、サウ云  
フ點ガ缺ケテ居ルノデアリマス、食糧ニ至ツ  
テモ其ノ通りデアリマス、現實ナ問題ヲ私  
ハ大臣ニ申上ゲル機會ヲ實ハ待ツテ居ツタ、  
隨テ是ハ獨リ北海道ノ問題ダケデハナクシ

テ、現ニ結成サレ、而モ其ノ組織ノ中ニ組織化サレ、今後基礎産業人トシテ、國家ノ爲ニ拾石トナツテ働ク全國二百數十萬ノ日本勞務報國會ノ會員ニ對スル今後ノ斯ウシタ作業用ノ必需品、及ビ生活上ニ於ケル必需品ノ取扱ヒ方、及ビ其ノ配給ニ關シテ、此ノ機會ニ私ハ大臣ノ親トシテノ立場カラノ御親切ヲ御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス

モウ一點ハ勤勞顯功章デアリマスガ、是モ私ハ是ト同ジ角度カラ言ハレルノデハナイカト思フ、鑛山、重要軍需工場ニ働ク所ノ者ハ、殊勳甲トシテ働キラスラナラバ、殊勳甲トシテノ金鵝勳章ヲ上グレバ宜シイ、併シナガラ基礎産業ニ從事スル者デモ、私ハ縱シ殊勳甲ニアラズト雖モ、金鵝勳章ヲ貰フ資格ノアル者ガアルノデハナイカ、所ガ現在親トシテノアナタノ取扱ハ差別ヲ付ケル、私見ル所デハ全部殊勳甲ヲ與レト云フノデハアリマセヨ、波止場デ石炭ヲ積込ム者、軍需品ヲ船ニ積込ム者、或ハ奥山ニ居ツテ森林伐採ニ從事シテ居ル者、或ハ鑛山及ビ工場ノ建設ノ土地ヲ開拓スル建築土工、或ハ大工、是等ノ勞務報國會ニ屬シテ居ル者デモ、金鵝勳章ニ値スル者ニ對シテハ、顯功章ヲ與レテ一向差支ヘナイデハナイカ、現在ノ戰爭ハ總力戰デアアル、私ハ兵隊ノコトハ分リマセヌガ、第一線ニ於テモ上ハ指揮官カラ、下ハ物ヲ運搬スル特務兵マデ打ツテ一丸トナツテコソ、初メテ戰爭ニ勝ツノデハアリマセヌカ、特務兵ダカラ金鵝勳章ヲ貰ヘナイト云フ理窟ハナイ、所ガ現在金鵝勳章ト同一ナ値ヲ持ツ所ノ顯功章ノ取扱ヒ方ガ、重要ナ所ニ働イテ居ル者ダケハ貰ヘル、アトハ貰ヘナイ、所ガ此ノ

顯功章ト云フモノガ出タ當時ノ全體ノ勞働者ノ精神ニ與ヘタ感ジト云フモノハ、先程申上ゲタヤウニ涙ヲ流シテ喜ンデ居ル、所ガ段々調ベテ見ルト、貰ヘル者ト貰ヘナイ者ガ出テ來タ、私ナドモ全部ニ與レルモノダト思ツテ、ソコデ私等ハ、私ノ與ヘラレタ範圍内デ、今度ハ國家ガ君達ノ本當ノ力ト云フモノヲ認メタ、君達ガ本當ニ職域ヲ通ジテ國家ニ御奉公ヲ眞劍ニスレバ金鵝勳章ト同ジヤウナ、ソレニ値スル顯功章ヲ與レルノダト言ツタガ、段々調ベタラサウデハナイ、貰ヘル者ト貰ヘヌ者ガ出テ來タ、是デハイケンイト思ヒマス、ドウカ此ノ二百數十萬ノ此ノ會員ノ精神的ナ志氣ニ與ヘル所ノ影響ハ甚大デアリマス、私ハ決シテ殊勳甲デアル所ノ金鵝勳章ヲ與レトハ申シマセヌ、ダカラ私ハ、此ノ職域ニ捨身ニナツテ働イテ居ル者ニモ、兵隊デ言フ金鵝勳章ニ等シイ顯功章ヲ與ヘル所ノ途ヲ開イテヤルカラ、オ前達モ國家ノ爲ニ捨石ニナツテ此ノ際戰力増強ニ邁進スル爲ニ職域ヲ守レト云フ所ノ御親切ヲ御言葉ヲ、私ハ此ノ委員會ノ席上ヲ通ジテ全國二百數十萬ノ是等ノ會員ニ聽カシテ戴キタイト云フコトヲ御願ヒシテ私ノ質問ヲ終リマス

○小泉國務大臣 只今具體的ノ例ヲ御舉ゲニナリマシテ、勤勞力増強ノ爲ノ色々ナ御話ハ洵ニ傾聽ヲ致シマシタ、勤勞顯功章ノ授與範圍ハ、是ハ決シテ五大産業ダケト決メテ居ルノデハゴザイマセヌノデ、是ハ凡ユル産業ノ勤勞者ヲ對象ト致シテ居ルノデアリマス、唯今回初メテ御制定ヲ仰ギマシテノ第一次發表ニ於キマシテハ此ノ徵用ヲセラレテ居ル人、五大産業ニ居ラレル人ガ第一次銓衡ノ發表ノ中ニ入りマシタ、第二次、第

三次ト續ケテ顯功章ノ發表ガアルト思ヒマス、決シテ差別ヲ致シテ居リマセヌ、只今御話ノアリマシタヤウナ基本産業殊ニ今日日本勞務報國會ト云フモノガ結成サレタ曉ニ於テ、是等ノ方々ガ其ノ對象トナルコトハ當然デアリマス、獻身的ニ奉公セラレマシテ、眞ニ勤勞顯功ニ値ヒサレル方ガアリマスナラバ、是ハ第二次、第三次ノ發表ノ中ニ入ルモノト私ハ確信致シマス

次ニ勞務報國會ノ人、殊ニ今最モ重要ナ仕事トシテ勤勞サレマス港灣荷役ノ人、又木材伐採ノ人達ニ對シマシテ、生活必需物資ノ特配モ政府トシテハ致シテ居ルノデアリマスガ、今マデマダ十分ニ行カナカツタト云フノハ、御承知ノ通りニ土建、或ハ斯ウ云フ人達ガバラ／＼デアツタト云フ點モゴザイマス、今回日本勞務報國會ガ結成セラレマシテ、是ガ一ツノ大キナ動キヲ致シテ參リマスル今日トナリマシテハ、政府トシテ何處マデモ、生活必需物資、生産必需物資ノ特別ナ配給ヲ致シテ、農林省、商工省トモ之ニ關シテ私共ト一緒ニナツテ遺憾ナイヤウニシテ居ルト云フコトハ、當然デアリマス、又サウ云フ風ニシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○正木委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○清水委員長 暫時休憩致シマス、本會議終了後再開致シマス、御承知ヲ願ヒマス

午後零時二十三分休憩

午後四時四十九分開議

○清水委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、次會ハ月曜日午前十時ヨリ開會致シマス

午後四時五十分散會

昭和十八年二月二十三日印刷

昭和十八年二月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局